

商 工 労 政 課

○ 商工関係

1 伊勢志摩総合地方卸売市場出資金

伊勢志摩地域の消費者の安全・安心な生鮮食料品を安定供給するとともに、生産者の販路を提供している卸売市場の経営の安定化を図るため、株主が割合に応じて増資を行った。

このことにより、卸売市場の経営基盤の安定化が図られ、消費者へ生鮮食料品の安定供給と地元生産者への安定的な販路の確立に努めた。

割当株式の種類	増資株数	増資金額
普通株式	株 (注) 17,107	円 171,070,000

(注) 1株あたり 10,000円

2 消費生活関連事業

(1) 消費生活相談業務

伊勢市消費生活センターにおいて、架空請求や悪質商法、クーリング・オフなど、消費生活にまつわるトラブルに関し、専門相談員による相談を行った。電話または窓口にて相談者にアドバイスを行ったり、相談内容によっては、事業者への確認や交渉の手助けを行うなど、消費者問題の早期解決に努めた。また、年々増加し、多様化する相談に対応するため、相談員を1名増員し、相談業務の更なる充実化を図った。

消費生活相談件数	518件
----------	------

(2) 啓発活動

消費者被害を未然に防ぐために地域包括支援センターと連携をとりながら、高齢者クラブを中心に、出前講座を開催した。出前講座では、消費生活センターの紹介、被害にあわないために気をつけること、これまでの事例をもとに市で作成した紙芝居を使ってわかりやすい講座を実施した。

また、小さい頃からの消費者教育の重要性を認識し、小学校での出前授業を実施した。出前授業では、お買い物ゲームを通して、お金のつかい方を学ぶ体験型の授業を実施した。

出前講座件数 (高齢者クラブ)	12件
--------------------	-----

出前授業校数 (小学校)	2校
-----------------	----

(3) 多重債務対策

多重債務に陥っている人が誰にも相談できず、解決の糸口さえ見つからないということがないよう、三重県、司法書士会及び弁護士会等と連携し、消費生活センターにて相談を受け付け、債務状況・家族構成等の基本的な事項を聴き取ったうえで、司法書士や弁護士事務所を紹介・相談予約し、多重債務者を確実に法律専門家へとつなげることで、多重債務問題の解決に努めた。また、司法書士会の協力を得て、毎月第3木曜日に無料多重債務相談会を開催した。

多重債務相談件数	60 件
----------	------

3 融資対策事業

小規模事業者の資金運営円滑化を図るため、三重県の融資制度である小規模事業資金等の貸付を受けた事業者に対して、保証料の補給または利子の補給補助を行った。

(1) 商工制度資金利子補給事業補助金

平成 18 年 12 月末までに小俣町商工会の斡旋により国・県の制度融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じ利子の補給補助を行った。

件数	利子補給補助金額	取扱金融機関名
1 件	5,215 円	日本政策金融公庫

(2) 小規模事業資金保証料補給補助金

伊勢商工会議所または平成 19 年以降に小俣町商工会の斡旋により、三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。

件数	保証料補給補助金額	取扱金融機関名
148 件	3,886,701 円	百五銀行、第三銀行、三重信用金庫、中京銀行ほか

(3) 中小企業信用保険法の規定による特定中小企業者の認定

中小企業者が三重県信用保証協会の信用保証を受けられる融資金額は、中小企業信用保険法によりその上限が定められているが、営業不振や取引先の倒産などで緊急の事由により資金需要が発生した際、一定要件に該当する場合に、一般の保証枠とは別枠で信用保証による新たな融資が受けられるように、「特定中小企業者」として認定し、中小企業者の資金調達の円滑化を図った。

認定要件	認定件数	根拠法令
全国的に業況の悪化している業種に属する中小企業者	218 件	中小企業信用保険法第 2 条第 4 項第 5 号

4 中小企業振興対策事業

中小企業の経営改善及び経営強化を支援するため、伊勢中小企業相談所（伊勢商工会議所内）及び小俣町商工会が行う経営指導事業等に要する経費に対して補助金を交付し、中小企業の振興に寄与した。

交付団体	事業内容	補助金額
伊勢商工会議所 伊勢中小企業相談所	中小企業等に対する ・講習会、セミナーの開催 ・融資相談、経営指導、金融機関の斡旋 など	円 10,000,000
小俣町商工会	中小企業、個人商店等に対する ・経営指導や記帳指導 ・決算、年末調整、消費税申告指導 など	7,760,000
計	—	17,760,000

5 中心市街地活性化推進事業

(1) 空店舗対策事業

交通環境の変化や郊外への大型店の出店などを要因として、かつては賑わいを見せた中心市街地商店街は、年々、来街者が減少し、空き店舗も多い。地域のコミュニティの場として中心的役割が期待されている中心市街地商店街の集客力及び機能回復を促進するために、いせTMO（事務局：商工会議所）が実施する「空店舗活用モデル事業」、「テナント確保支援事業」に補助金を交付した。

これらの事業は、商店街の活性化を図るとともに新規創業者のための店舗開設及び経営の一助となっている。

ア 空店舗活用モデル事業

	商店街名	名称	開設日	補助金額
継続	明倫商店街	(注) 学びや	平成 23 年 3 月	円 406,118

(注) 補助金の交付は、平成 24 年度で終了

イ テナント確保支援事業

	商店街名	名称	業種	補助金額
新規	高柳商店街	四季の里	介護事業	円 600,000
	伊勢市駅前商店街	シゲルカットクラブ	美容院	510,000

新規	外宮参道発展会	鉄饅	飲食業	409,500	円
	新道商店街	Vinyl Cycle Records	中古レコード小売業	75,000	
	新道商店街	ユメビトハウス	シェアハウス事業	18,250	
計				1,612,750	

(2) 商業まちづくり補助金事業

中心市街地商店街、またはこれに類する団体の発展及び活性化を図ることを目的に、いせTMOが実施する地域と一体となって消費者に魅力ある商店街づくりのために行う事業（公募）に対して、補助金を交付した。

交付団体	事業名	補助金額	
河崎まちづくり衆	河崎商人市による空町家・空蔵の活用	315,000	円
新道商店街	しんみち夜のにぎわいづくりと地域参加事業	350,000	
高柳商店街	たかやなぎ冬の集客イベント創出事業	350,000	
計		1,015,000	

6 買い物環境整備事業補助金

市内の商業振興、買い物客の購入活動促進及び円滑化を図ることを目的として、地域住民や観光客のニーズに応え、それらと協働しつつ、消費者が楽しく買い物ができる店舗ならびに商店街づくりや、購買の利便性を高める商業環境の整備等を実施する商店街等に対して補助金を交付した。

交付団体	事業名	補助金額	
二見浦表参道活性化委員会	西行が愛したまち 二見浦	400,000	円
伊勢ポイントカード協同組合	伊勢ポイントカード加盟店ネット通販事業	666,000	
浦之橋商店街	うらのはしスタンプラリー	1,000,000	

ゴーリキグループ	トイレのバリアフリー化事業	円 1,000,000
神話普及委員会	神話の普及及び関連商品開発事業	260,000
外宮参道発展会 外宮参道マップ作成委員会	外宮参道ご利用マップ作成事業	220,000
外宮前食堂会	外宮前食堂プロジェクト	1,000,000
皇學館大学地域社会研究会	地域連携拠点構築整備事業	540,000
計		5,086,000

7 住宅・店舗リフォーム促進事業

市民のリフォーム又は増改築の意識を促進することで、市内関連産業の振興を促進し、地域経済の活性化を図るため、住宅又は店舗のリフォーム又は増改築を行う者に対し、補助金を交付した。

区 分	補助件数	補助金額
店 舗	3 件	365,000 円
住宅・店舗 併 用	18	2,361,000
住 宅	100	6,991,000
計	121	9,717,000

8 地域産品販売促進事業

特産品などの地域資源については、伊勢の魅力を発信し、特産品の認知度を向上させることで、販路拡大につながり地域産業の活性化が図れることから伊勢市産業振興会等と連携し、首都圏、大都市圏において物産展等を開催した。

開催日	名 称	開催場所
24. 9. 15～17	全国ふるさと観光物産展 2012	せんちゅうパル（大阪府・豊中市）
24. 9. 19～21	伊勢の観光物産展	東京交通会館（東京都・有楽町）
24. 11. 17～18	伊勢・鳥羽・志摩うまいもん列車	近鉄上本町駅構内（大阪府・大阪市）
24. 12. 14～16	全国ふるさと観光物産展 2012 「冬の特産品祭り」	せんちゅうパル（大阪府・豊中市）

25. 3. 3～ 6	伊勢の観光物産展	東京交通会館（東京都・有楽町）
25. 2. 18～23	場所文化レストランとかちの… 三重フェア 伊勢の週	場所文化レストランとかちの… （東京都・千代田区丸の内）

・その他物産展等の状況

24. 12. 1～ 2	2012 中日三重お伊勢さんマラソン 伊勢志摩物産展	三重県営総合競技場周辺
25. 2. 17	第 6 回美し国三重市町対抗駅伝	三重県営総合競技場周辺

○ 労政関係

1 雇用対策事業

(1) 若年求職者等支援事業

若年者の中には、離職を繰り返す方、働く意欲はあるものの就職に至らない方、働く意欲が低下するなど社会生活そのものが困難な方など、職業的な自立が困難な方が多数存在しており、その要因は多岐に及びます。若年求職者・無業者に対して、それぞれの個別ケースに合わせた支援を実施することで、安定した就職の実現を目指しました。

○ 伊勢市若者就職総合支援業務

国の設置する「いせ若者就業サポートステーション」と連携し、臨床心理士による個別面談、適職診断、自立のための職業体験・講演会等を実施した。

- ・実施期間 平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
- ・委託先 NPO 法人いせコンビニネット
- ・委託料 2,996,196 円
- ・実績 相談件数 延べ 1,819 件 セミナー・講座の開催 23 回

(2) 緊急雇用創出事業

現下の厳しい雇用情勢に対処するため、短期的な雇用・就業機会の創出を目的として、29 事業を実施した。

事業名	担当課	内 容	新規雇用のべ人数
外国人児童生徒支援事業	学校教育課	日本語支援が必要な外国人児童生徒の学習及び学校生活の支援を行った。	2 人
児童生徒自立サポート事業	教育研究所	不登校児童生徒の、自立への意欲を高め、集団生活への適応が図られるよう支援した。	1
学校図書館活性化支援事業	学校教育課	子どもの読書活動の推進のため、図書資料の受入れ・廃棄・データベースの作成、効果的な資料配架など、学校図書館の効率的な運営と活性化を行った。	4

学校 I C T活用活性化支援事業	教育研究所	I C T活用に関する授業がスムーズに進行するよう、準備段階から I C T活用授業の企画立案等に携わるとともに、授業の中で児童生徒に I C T機器の操作支援を行うほか、作品制作等へのアドバイスを行った。	人 3
歴史的資料等整理事業	文化振興課	市の歴史的資料である旧市川造船所資料その他民俗資料等について、分類、カード作成、データ入力等を実施した。	6
社会スポーツ団体等育成事業	生涯学習・スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの新設に向けた支援及び各種スポーツ関連団体の実施している各事業の運営に協力しながらこれをデータベース化し、類似団体等にその情報提供をすることを通じて各組織の強化を図った。	3
教育用コンピュータ機器台帳作成事業	教育研究所	各小中学校に設置のコンピュータ機器の機種、OS・インストールソフトなどの現況調査を行い、基礎情報の整理、データベース化を行った。	1
学校図書館・教材備品台帳等整備事業	教育総務課	「義務教育諸学校における新しい教材整備計画」及び「新学校図書整備5か年計画」に基づき、小中学校の教材備品及び学校図書の台帳等の整備を行った。	9
コミュニケーション支援事業	学校教育課	コミュニケーション能力に課題のある児童に対し学校生活において支援を行い、コミュニケーション能力の育成を図る。	2
防犯対策支援事業	危機管理課	児童・生徒への不審者からの声かけ及び街頭犯罪等を抑止するため、防犯パトロールを実施した。また、防犯灯台帳の適正管理を行った。	2
防災対策支援事業	危機管理課	市指定の避難所に係る調査を行い、新たな避難所を指定した。	1
道路占用物件調査事業	維持課	道路占用物件の調査を行い、占用物件の適正化を図った。	4
生活環境被害対策サポート事業	農林水産課	野生獣による生活環境被害を受けている地域を重点的にパトロールし、被害対策を支援した。	2
獣害対策強化事業	農林水産課	獣害被害を受けている地域を重点的にパトロールし、野生動物出没時に追い払いを行った。	2
営農活性化事業	農林水産課	営農活性化のために必要となる資源である農業用施設の現況を調査・整理し、基礎データとして整備した。	2
伊勢市観光 P R推進事業	観光企画課	観光地としての伊勢を P R するため、全国 P R キャラバンを展開した。	1

主要観光地車椅子貸出事業	観光事業課	観光客が快適に過ごすことができるよう車椅子の貸し出しを行い、来訪エリア及び滞在時間の拡大を図った。	2	人
観光客受入体制整備事業	観光事業課	式年遷宮関連観光対策として、観光客に対する情報発信や受入体制の強化を図った。	1	
幼保一体化に係る推進事業	教育総務課	認定こども園の円滑な運営を図るため、市長事務部局と教育委員会事務局との連携による総合相談窓口を設置した。	1	
特定健康診査受診勧奨事業	医療保険課	特定健康診査受診率向上のための電話による受診勧奨及び関係事務を行った。	1	
小学生医療費助成円滑導入事業	医療保険課	小学生の通院医療費助成制度を開始するにあたり、対象者への周知、申請受付等の窓口業務、問合せへの対応その他関連する事務を行った。	2	
事務事業データ整理事業	情報調査室	各種事務事業のデータを整理し、事業コスト集作成等の基礎資料を整備するとともに、市民投票制度の先進事例収集を行う。	1	
住居表示台帳データ整理事業	戸籍住民課	市街地の現状にあった台帳整備を行い、将来にわたって適正に管理を行うための台帳のデータ化を行った。	7	
F Mラジオ情報発信事業	広報広聴課	伊勢市の観光情報やイベント情報等取材し、FMラジオを通じて情報発信を行った。	3	
転出入者の要因調査等に係るデータ化事業	行政経営課	転出入者の転出入における要因を調査し、今後、定住を促進させる事業立案の基礎資料とした。	1	
収納確保対策事業	収税課	インターネット公売の実施にあたり、公売資料に適した差押台帳の整備を行った。	2	
公共施設情報整理事業	情報調査室	市が保有する施設の建物情報、利用情報等について整理し、施設の有効活用のため、全庁的な情報共有を図る資料を作成した。	1	
介護保険文書等整理事業	介護保険課	訪問徴収用資料の作成及び既存の折衝記録のデジタル化を行うことにより正確で効率的な滞納整理を行った。	2	
地域福祉計画改定準備事業	生活支援課	地域福祉計画を進行管理する推進会議の開催に伴う資料作成、会議録作成などを行い、地域福祉計画改定版作成に向けた準備を行った。	1	
計	—	—	70	

2 勤労者福祉事業

(1) 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金

中小企業で働く勤労者の福祉制度の充実を推進し、併せて勤労者福祉の向上と中小企業の発展を図るため、伊勢市、鳥羽市、玉城町で構成する一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対して補助を行った。

名 称	一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンター
所在地	八日市場町 13 番 13 号 (サンライフ伊勢内)
実施事業	生活安定事業、健康維持増進事業、旅行やスポーツ大会の開催、余暇活動事業、自己啓発事業 など
補助金額	13,284,000 円 (うち伊勢市負担金 10,300,000 円)
会員数 (平成 25 年 3 月)	676 事業所、4,017 人

(2) 勤労者ふれあい事業

10 月 21 日 (日) 県営サンアリーナにて、(社)伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバル「勤労者ゆとり T・I・M・E・y o u・ゆう・遊 i n g」を開催した。

当日は、市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約 20,000 人の参加があり、ゆとりと豊かさの実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。

3 高齢者労働対策事業

(1) 高齢者労働能力活用事業費補助金

高齢化社会が急速に進む中、高齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した、公益社団法人伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。

名 称	公益社団法人 伊勢市シルバー人材センター
所在地	河崎 1 丁目 4 番 35 号
実施事業	高齢者に相応しい臨時的・短期的な就業 (軽作業)、福祉・家事援助サービス等の提供
補助金額	20,743,000 円
会員数等 (平成 25 年 3 月)	会員数 871 人、延べ就業人数 82,204 人 受託件数 4,215 件、契約金額 350,458,675 円

4 勤労者福祉施設管理運営事業

(1) サンライフ管理運営事業

勤労者福祉施設であるサンライフ伊勢について、平成 18 年 9 月から指定管理者制度に移行しているため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターによる管理運営を実施した。

指定管理者	指定管理料 (平成24年4月～平成25年3月分)
一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンター	5,582,000円

○ 運営状況

ア 利用件数及び利用者数

区分	研修室	会議室	職業講習室	教養文化室	体育室	トレーニング室	計
利用件数	件 416	件 124	件 578	件 294	件 784	件 19,631	件 21,827
利用者数	人 5,151	人 2,539	人 17,941	人 4,743	人 18,875	人 19,631	人 68,880

イ 利用料収入

区分	施設利用料	設備器具 利用料	冷暖房設備 利用料	計
	12,894,165円	510,480円	422,670円	13,827,315円

ウ 自主事業

区分	講座の種類と講座数	講座回数	のべ受講者数
趣味づくり	前期 9種 11講座 後期 8種 10講座	306回	9,432人
健康づくり	7種 9講座	360回	8,958人
計	16種 20講座	666回	18,390人

(2) 労働福祉会館管理運営事業

労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与するため、伊勢市労働福祉会館を平成24年11月から再開し、会議室の貸室、維持管理を行った。

○ 伊勢市労働福祉会館運営委員会

新労働福祉会館の改修工事、条例等について、労働福祉会館運営委員会を開催し、協議を行った。

平成24年5月23日 伊勢市労働福祉会館改修工事、条例等について

平成24年7月24日 伊勢市労働福祉会館条例等について

平成24年10月30日 伊勢市労働福祉会館 完成報告

・組織

委員長 副市長

副委員長 産業観光部長

委員 労働者を代表する者 4名

公益を代表する者 4名

市職員を代表する者 2名

○ 運営状況

ア 利用件数及び利用者数

区分	大会議室	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第4会議室	計
利用件数	件 6	件 66	件 4	件 2	件 9	件 87
利用者数	人 240	人 919	人 61	人 30	人 117	人 1,367

イ 利用料収入

区分	施設利用料	設備器具 利用料	冷暖房設備 利用料	計
	213,690 円	9,620 円	28,820 円	252,130 円

(3) 労働福祉会館整備事業

市民の学習・研修・文化の向上の場として、また、伊勢地域で働く労働者の地位向上と福祉向上を目指す活動の拠点として、県伊勢庁舎会議棟を購入し、改修工事を実施した。

○ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
勢田町 地内	(注) 伊勢市労働福祉会館 改修工事	改修建物 鉄骨造 3階建 延面積 804 m ² 自転車置場新築 22 m ² 電気設備工事 一式 機械設備工事 一式	円 41,230,350	24. 6. 22	24. 10. 15

(注) 建築住宅課施行

5 伊勢市やすらぎ公園プール

やすらぎ公園プールを開設し、勤労者と市民の福祉の増進と体力の向上を図った。

○ 開設状況

ア 開設期間 平成24年7月7日～8月31日(通常営業48日間)

イ 有料入場者数

大人	小人	付添人	計
人 4,464	人 7,964	人 1,477	人 13,905

ウ 収入

入場料収入	ロッカー使用料	計
円 4,202,930	円 236,400	円 4,439,330

6 融資対策事業

(1) 勤労者持家促進資金貸付金制度

市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が、市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子を軽減することで、勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。

利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。なお、協調融資期間は10年間で、その期間中は低金利となっている。

新規融資件数	新規融資額	預託金額	協調残高
0件	0円	2,400,000円	2,339,776円

※市からの預託金額は、年度末に同額が東海労働金庫より返還された。

(2) 勤労者教育資金貸付金制度

市内に居住する勤労者がその親族に必要な教育資金について、東海労働金庫が実施する教育資金貸付を利用した場合、その利子を軽減することにより、勤労者の負担の緩和を図った。

利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。なお、協調融資期間は4年間で、その期間中は低金利となっている。

新規融資件数	新規融資額	預託金額	協調残高
0件	0円	1,000,000円	0円

※市からの預託金額は、年度末に同額が東海労働金庫より返還された。

産 業 支 援 課

○ 企業立地推進事業

1 企業立地セミナー～産業人交流会～の開催

首都圏の企業・業界・経済団体等の経営者や担当者を一堂に会して、伊勢市の企業誘致の支援体制を構築するため、産業、観光、文化、自然環境面などの多様な情報発信を行い、首都圏の産業人との連携を深めることを目的に開催した。

開催日時：平成24年11月16日（金）14：30～18：45

開催場所：KKRホテル東京 東京都千代田区大手町一丁目4番1号

出席者：130人（首都圏の製造業を中心とした企業経営者及び役員、金融機関、ゼネコン、経済界で活躍されている地元出身者など。）

内容：受付 14：30～

第1部企業立地セミナー 15：00～17：00

市長による伊勢市の紹介等のプレゼンテーション

講演会の実施

講師：安藤 忠雄 氏 建築家、東京大学特別荣誉教授

第2部産業人交流会 17：00～18：45

出席者との交流、情報交換、各ブースでの企業誘致、観光、伝統工芸、食材のPR

2 アンケート調査の実施

（財）日本立地センターに委託して全国の企業を対象に他の自治体との合同形式のアンケート調査を実施した。

発送日：平成24年12月3日

発送数：18,500通

回収数：2,952通（回収率：15.96%）

対象業種：製造業（全般）、通信業（データセンター等）、情報サービス業（ソフトウェア業等）、インターネット付随サービス業、道路貨物運送業、倉庫業、こん包業（運輸に附帯するサービス業）、自然科学研究所

内容：アンケート調査対象企業の事業見通し、立地計画等に関する調査、及び参加自治体の用地情報を掲載した「産業用地ダイジェスト」の送付等によるPR。

3 企業訪問の実施

企業訪問による企業誘致活動、工場新設及び増設計画の情報収集を実施した。また、市内企業の市外流出抑制のための営業活動を実施するとともに、市外企業については関係機関等とも連携し企業訪問を実施した。

訪問地域	訪問件数	備考
県外	84 件	(首都圏 69 件、関西圏 9 件、中京圏 6 件)
県内 (市内除く)	29 件	
市内	98 件	
計	211 件	

4 新聞広告等の掲載

立地用地、及び各種優遇制度について各種新聞社への広告掲載をすると共に、インターネットの事業用地閲覧サイト「日経 事業用地ナビ」への掲載を行い周知に努めた。

新聞名	掲載日	発行部数
フジサンケイビジネスアイ (西日本版)	24. 6. 15	961,000 部
産経新聞 (東京 23 区版)	24. 6. 18	600,000 部
中部経済新聞	24. 10. 27、24. 11. 7、 25. 1. 31	94,700 部

5 伊勢志摩地域産業活性化協議会

・構成県市町 伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・南伊勢町・三重県

・目的 企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律 (企業立地促進法) に基づき、産業集積の形成又は産業集積の活性化に関する基本的な計画の策定及びその実施に関し必要な事項、その他地域における産業集積の形成又は産業集積の活性化に関し必要な事項について協議を行うことにより、当該地域における産業集積の形成及び産業集積の活性化のために当該地域の地方公共団体等が行う主体的かつ計画的な取組に寄与することを目的とする。

・負担金 240,530 円

(1) 基本計画の変更

伊勢志摩地域産業活性化協議会で協議を重ね平成 23 年度に策定した基本計画について、一部内容を変更し平成 24 年 9 月 3 日に関係大臣の同意を得た。

(2) 人材育成事業の実施

協議会の事業として「製造管理者育成基礎講座」を開催した。

会場	年月日	参加人数	内容
シンフォニアテクノロジー	24. 10. 9～ 25. 2. 4 (11 日間)	17 名	製造現場のリーダーとして備えておきたい「モノづくり」の基本技術・知識である Q (品質管理)、C (コストダウン)、D (生産管理)、S (安全)、M (設備管理) を実践的に習得し、各企業で「モノづくり改革」ができる製造中核人材を育成する。

6 企業誘致の実績

サン・サポート・スクエア伊勢へ1社の企業誘致を行った。

企業名	業種	用地譲渡面積	用地譲渡価格	新規雇用予定数	契約日
(株)利八屋	食料品製造業	4,432 m ²	64,066,000 円	15 人	24. 5.22

サン・サポート・スクエア伊勢全体面積 80,725 m²、分譲済面積 53,627 m²、分譲率 66.4%

○ 工場等誘致奨励事業

1 企業立地用地ならびに各種奨励制度の周知

市内への工場等の誘致・誘導について、より一層推進するため、伊勢市ホームページ等による工業団地や各種奨励制度の周知に努めた。

2 工場等誘致奨励金の交付

本市における産業の振興及び雇用の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、伊勢市工場等立地促進条例に基づき奨励金を交付した。

事業者名	交付決定額	概要
京セラ(株)三重伊勢工場	356,250 円	設備投資奨励金(3年度目)
(株)菊川鉄工所 ※現キクカワエンタープライズ(株)	88,382,700 円	用地取得奨励金

○ 企業立地推進一般経費

1 企業立地・産業支援研修会への参加

地域活性化につながる企業立地を一層推進するため、研修会に参加し職員の資質を高め、情報収集に努めた。

年月日	研修会名称	開催場所	主催者及び内容
25. 2. 6	自治体企業立地担当者実務セミナー	東京都	(一社)日本経営協会 企業立地業務の基本実務の習得

2 企業立地用地の分筆登記

サン・サポート・スクエア伊勢について、分譲に伴う区画の分筆登記を実施した。

3 企業立地用地の維持管理

サン・サポート・スクエア伊勢について、企業進出に伴い街路灯を3か所新設した他、街路灯の補修1か所、市有地の草刈を行い用地の適切な維持管理に務めた。

○ ものづくり推進事業

1 新産業創出支援事業補助金の交付

「新たな製品」を創り出せる優れた技術を持つ中小製造業者又は中小製造業者・団体の育成を図るため、中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発に対し、補助金を交付し、地場産業の活性化と企業力の強化を図った。

補助金交付事業者及び交付額の決定にあたっては、大学教授をはじめとする学識経験者等から構成される審査会で、事業内容及び実績等の審査を行った。

事業者名	交付確定額	事業内容
御木本製薬(株)	947,000 円	アコヤガイ真珠層色素を利用した新たな機能性化粧品の開発事業

※複年度事業であり御木本製薬(株)は、平成24年度は2年度目で平成23年度交付金額と併せると2,000,000円の交付となる。

2 伝統工芸品等再生支援事業補助金の交付

伝統工芸品産業の振興を図るため、製造業者等が行う後継者育成等の伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業に要する経費に対し、補助金を交付した。

事業者名	交付額	事業内容
辻村表具店	200,000 円	表具技術の習得、向上及び後継者育成事業

3 (株)三重TLOへの加入及び関係機関との連携

企業と大学との交流支援に取り組み、かつ、県内の大学等の研究成果や新技術を産業界に移転する活動を積極的に推進するなど、産学官連携の拠点と位置づけられている(株)三重TLOに継続加入し、地元企業が学術機関へ技術相談したり、大学等のシーズの収集などが安易にできる環境を整えた。

また、国・県・大学や高等専門学校をはじめとする支援機関・研究機関などと連携し、中小企業支援のメニューや試験設備の情報を収集するとともに、これら機関と支援体制の繋がりを太くした。

4 伊勢市産業支援センター運営協議会の開催

伊勢市産業支援センターの円滑かつ適正な運営を図るため、地元企業や関係団体などから構成される運営協議会を開催し、地域企業の意見を施策に反映したり、関係団体との連携・調整に努めた。また、指定管理者制度の運営について意見聴取を行った。

5 近隣地域のインキュベーション施設担当者との会議等への参加

起業支援業務に関して、近隣地域との情報交換、及び基調講演受講による職員の資質向上のため、会議・研修会に出席した。

年月日	会議・研修会名称	開催場所	主催者及び内容
24. 10. 24	中部B I ネットワーク連携会議	名古屋市	(独) 中小企業基盤整備機構 B I 運営に係る課題共有、意見交換等
24. 12. 20	第3回ビジネスインキュベータ企業発表会	津市	(公財) 三重県産業支援センター 創業、起業に関する講演とB I 企業の発表等
25. 1. 17	全国中小企業活性化支援シンポジウム	東京都	(財) 中小企業総合研究機構 「最近の中小企業政策について」の講演等

○ 産業支援センター管理運営経費

伊勢市産業支援センター

平成24年度より、専門性を向上させ効率的・効果的に業務を進めるため指定管理制度を導入した。指定管理者は、施設の管理運営と企業訪問・課題解決、起業家育成、各種講習会の開催などに取り組んだ。

指定管理者：伊勢商工会議所

指定管理期間：平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）

指定管理料：総額 222,058,350 円（平成24年度分 43,573,950 円）

1 起業支援

(1) 創業支援員の配置

新しい事業の実現のため、起業家とともに課題を分析し、解決のための手法の提案や、経営・財務など専門家との連携など、起業家の事業活動を総合的にサポートする創業支援員を常勤で配置した。

ア 創業支援員 インキュベーションマネージャー 渡邊 憲一

イ 相談件数 304 件（外部）、175 件（内部）、 計 479 件

ウ 起業勉強会 開催回数 12 回、累計参加者 204 人

(2) 起業家支援室の使用実績

事業者名または個人名	利用期間	事業内容
メダボン	平成23年4月から 平成25年3月まで	めだかの養殖・盆栽の制作、WEB販売
エコプロ(株)	平成24年4月から	環境関連事業 社会福祉関連事業
(株)デルテックサービス	平成24年4月から	環境保全薬品の開発販売 産業廃棄物処分のコンサルティング
社労士 Office ウェルキャリア	平成23年9月から	人材採用サポート・人材紹介・人事労務管理業務の代行

(3) 起業準備支援室の使用実績

使用者名	使用期間	事業内容
中村 真紀	平成 23 年 12 月から 平成 24 年 5 月まで	伊勢志摩の地域資源を使った商品開発
土面 歩史	平成 24 年 6 月から	個人の家庭のライフプランニング 相続事業承継対策プランニング
酒谷 要	平成 24 年 9 月から	ホームページの作成・運用・管理 チラシ等、広告の制作 市内求人情報の発信サイトの運用

(4) 起業スキルアップセミナー及び起業意識啓発セミナーの開催

開催日	講座名	講師	受講者数
24. 8. 26 24. 9. 2	創業知識習得講座 ※1	(有)ヒキタ経営情報事務所 中小企業診断士 疋田 真也 氏 他	16 人 (延 28 人)
24. 6. 28	遠隔農場『テレファーム』開発 のきっかけ ※1	(株)テレファーム 代表取締役 遠藤 忍 氏	32 人
24. 7. 10	プロフェッショナルを迎えて 心をつかむプレゼンテーション セミナー ※1	(株)エンカレッジ 代表取締役 玉野 聖子 氏	52 人
25. 1. 28	創業カフェ・ISE「じゅうたんス ピーカー誕生秘話」 ※2	(株)ENSOUND 代表取締役 菅 順一 氏	20 人

開催場所・・・※1は産業支援センター 研修室、※2は伊勢商工会議所 4階中ホール

2 技術力向上支援（企業力の強化）

(1) 企業支援員及び職員による企業訪問及び支援

市内の製造業を中心とした中小企業の活性化を図るため、製造業者個々の課題を把握しその解決に向け、関連支援機関等への橋渡しや各種支援策の紹介を行い、企業の円滑な事業活動を支援する「企業支援員」3名を配置した。また、職員も企業訪問を行い、市内企業の状況把握、他団体等の企業支援メニューの紹介等を行った。 企業訪問件数 1,287 件 (442 社)

3 販売力向上、販路拡大支援（企業力の強化）

(1) 大都市圏等展示会への視察・出展支援事業

① 伊勢市産業支援センターとして、しんきんビジネスマッチング「ビジネスフェア 2012」の展示会にブースを出展し、市内企業と共に商品PRに努めた。

ア 開催日 平成 24 年 9 月 7 日 (金)

イ 開催場所 ポートメッセなごや

ウ 参加企業 8 社

② 「ビジネスインキュベーション中部 2013」へ伊勢市産業支援センターブースを出展し、当施設及び当BI施設入居企業のPRを行った。また、展示会出展を計画されている事業所及び新たな企業とのマッチングを求めている事業所などが視察を行なった。

ア 開催日 平成 25 年 2 月 19 日 (金) ・ 20 日 (水)

イ 開催場所 吹上ホール (名古屋市中小企業振興会館)

ウ PR企業 6 社

エ 視察企業 10 社 13 人

(2) Webによる企業情報紹介（伊勢市ものづくり企業データベース）及び情報発信力強化
 新たな外注・発注先や、協力工場探し・工場検索、企業連携先の探索などの利用のため、
 伊勢市内に立地する製造業関連の事業所・企業情報を掲載した。また、市が行っている製
 造業関連の事業所を対象とした補助金の情報や、各種研修など企業支援情報のほか、国・県な
 どの支援事業を掲載した。

4 人材育成支援（企業力の強化）

(1) ものづくり人材育成セミナーの開催

開催日	講座名・タイトル等	講師	受講者数
25. 2. 27	共同受注・企業連携セミナー ※1	株式会社ロダン 21 代表取締役 品川 隆幸 氏	10 人
24. 11. 9	技術の見える化セミナー 中小 製造業者の WEB を活用した販路 拡大 ※1	大阪産業創造館 あきないえーど経営サポーター 坪内 利文 氏	16 人
24. 8. 21	しんきんビジネスフェアに向 けた展示会活用セミナー ※ 1	MORE 経営コンサルティング(株) 代表取締役 中小企業診断士 日野 眞明 氏	25 人
24. 6. 7	ホームページ S E O 対策セ ミナー ※1	(有)ヒキタ経営情報事務所 中小企業診断士 疋田 眞也 氏	22 人
24. 6. 14	省エネ情報説明会 「工場・ビルでの省エネの具 体的方策と事例」 ※1	財団法人省エネルギーセンター東海 北陸支部 省エネ診断員 池内 好喜 氏 事務局次長 水野 清 氏	24 人
24. 7. 20	ものづくりセミナー 「伸びる会社はどこがちがうの か」 ※2	(有)IMS アセットマネジメント 代表取締役 清水 秀和 氏	53 人
24. 8. 27	技術相談キャラバン 「技術相談キャラバン in 伊勢」 ※1	三重大学社会連携研究センター 社会連携研究室 特任教授 松井 純 氏 他	9 人 (7 事業所)
24. 11. 3	地域資源活用研究会 「三重県におけるヒジキ養殖の 可能性」 ※3	三重大学 生物資源学研究科 教授 前川 行幸 氏 三重大学 名誉教授 天野 秀臣 氏	49 人
24. 11. 21	ものづくりセミナー 「風力発電は中小企業の宝の山 セミナー」 ※1	名古屋大学大学院 環境学研究科 客員教授 林 農 氏	19 人
24. 11. 27 24. 11. 28	貿易実務講座（基礎編） 「貿易の仕組みと流れの講義と 模擬体験」 ※2	貿易アドバイザー 前田 直明 氏	30 人 (延 59 人)
24. 12. 17 24. 12. 18	貿易実務講座（応用編） 「売買契約（輸出・輸入契約）、 インコタームズ、国際輸送、輸 出入通関、貨物保険、決済、外国 為替レートと変動リスクの講義 とロールプレー」 ※2	貿易アドバイザー 前田 直明 氏	20 人 (延 39 人)

24. 12. 25	製造業従業員向け 教育訓練セミナー 「人・設備・企業の体質改善活動」 ※2	パナソニックエコソリューションズ 創研(株) 技術製造コンサルセンター 部長 安原 茂樹 氏	27 人
25. 1. 21	製造業従業員向け 教育訓練セミナー 「製造現場における品質管理の実践」 ※2	パナソニックエコソリューションズ 創研(株) ISO・改善サポートセンター 所長 宮成 正治 氏	23 人
25. 2. 21	facebook 活用セミナー 「宣伝や広報に便利な 「facebook ページ」活用セミナー」 ※1	クレイポルド株式会社 代表取締役 傳 直文 氏	56 人
25. 3. 8	製造業従業員向け 教育訓練セミナー 「生産性・品質向上のための正しい仕事の教え方」 ※1	三重労使雇用支援機構 コーディネーター 前田 宏男 氏	39 人

開催場所・・・※1は産業支援センター 研修室、※2は伊勢商工会議所 5階大ホール、
※3は伊勢商工会議所 4階中ホール

5 連携の促進

(1) 先進地域等広域ネットワーク構築事業

事業を展開していく上で、先進企業、大学、研究機関をはじめ様々な外部機関（人材）との交流による気づきや連携が重要であるため、市内企業に対して広域的な企業や大学、研究機関等との交流機会を提供する一環として、継続して交流を深めている大阪府八尾市の「バリテク研究会」が出展している、大阪市で開かれた三都ビジネスフェアを見学し、さらに連携を深めた。

(2) 大学・高専等との連携事業

中小企業の課題に対して、三重大学、三重大学社会連携研究センター、(株)三重TLO、鈴鹿高専、鳥羽商船高専、三重県工業研究所と連携し、それぞれが持つシーズ利用による新分野開拓、共同研究、相談等対応できるよう橋渡しを行った。

6 地域伝統技術の活用

(1) 地域伝統技術講習会・講座等の開催

① 伊勢春慶塗教室

伝統工芸品である伊勢春慶の普及啓発の一環として、これまで漆塗りを体験したことのない人を対象に、木製の弁当箱へ伊勢春慶塗を施す一連の流れを体験してもらった。

ア 開催日 平成24年6月7日(木)～8月2日(木) 毎週木曜日 全9回

イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室

ウ 講師 元・工芸指導所長 西井 幸平 氏

エ 受講者数 8人(延べ71人)

② 漆芸講座

漆芸技術の向上と人材の育成を目的として漆芸講座を開催し、蒔絵・拭漆・伊勢春慶・彩漆・乾漆等の技法習得に取り組んだ（昭和 61 年 5 月から開催）。昨年に引き続き「基礎習得コース」にて漆芸の基礎を学んだ方を対象に「漆芸一般講座」を開催した。本年は「漆芸一般講座」の卒業生を対象に、「蒔絵講座」と「拭漆講座」の 2 講座を新たに開催し、受講者がより高度な技術を習得できる講座を開催した。また、「漆芸一般講座」「蒔絵講座」「拭漆講座」に参加する受講者に対し、自習日を設け、よりきめ細かく学べる環境を整えた。

- ア 開催日 各コース 週 1 回
- イ 回数 133 回
- ウ 場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室
- エ 講師 元・神宮司廳造営局神宝装束部長 神原 佑司 氏
元・工芸指導所長 西井 幸平 氏
- オ 受講者数 34 人（延べ 839 人）

③ 木工講座

市内の木工産業の振興を目的に、優れた木工技術を持つ技術者の育成を図るために行い、木工の技術・技法の習得、木工道具の仕込みの習得のための指導を行った。講座開催日以外にも自主活動日を設定し、受講生の技術の向上を図った。

- ア 開催日 月 2 回（第 2・4 土曜日）
- イ 講座回数 全 22 回
- ウ 開催場所 伊勢市産業支援センター 作業実習室
- エ 講師 家具職人 井坂 益水 氏
- オ 受講者数 11 人（延べ 196 人）
- カ 自主活動 全 23 回、11 人（延べ 118 人）

7 雇用・就労支援

高校生の意識を市内の製造業者へ導いていき、将来の地域産業を担う若い戦力を市内企業にとどまらせ、市内製造業の活性化を図るため、南勢地域県立高校の教諭 23 人（延べ 26 人）が、3 月 5 日、6 日に、市内企業 7 社を訪問しそれぞれの企業の内容を勉強した。

また、地元企業の人材確保の足がかりとして、7 月 17 日、24 日及び 9 月 3 日、4 日、26 日、27 日に三重大学と協力する形で、三重大学工学部の学生を対象に地元企業の見学会を開催し（延べ学生 205 人、引率 20 人が参加）、企業概要や独自技術を学生に P R する場を地元企業に提供し、将来の雇用につながるよう努めた。

8 計画・推進体制の確立

（1）企業データベース、企業カルテの整備

企業支援を行っていくうえで必要な情報を職員間で共有するため、企業の所在地・業務内容・取引先などの基礎情報を集約した「企業データベース」と、企業訪問やこれまでの支援経過を記録した「企業カルテ」を整備した。

(2) 市内製造事業者アンケートの調査

市内製造企業 537 社（回収率 22.0%）へアンケートを送付し、企業形態や特徴・業況・課題等を調査・把握し、今後の事業やセミナー・講習会企画・開催に役立てる。

9 その他

(1) 企業支援情報の発信

市内中小製造業者に対して、伊勢市産業支援センター及び関連機関の企業支援に関する情報を、メールマガジンとダイレクトメールにて情報提供を行った。

情報提供方法	情報提供企業数	送付件数
メールマガジン(Eメール)	約 230 社	59 回
ダイレクトメール(郵送)	約 550 社	3 回

(2) 材料試験及び化学分析機器、木工機械等の利用貸出

利用種別	件数
材料試験	6 件
化学分析機器の利用	34 件
木工機械の利用	22 件
その他機器の貸出	6 件

農 林 水 産 課

○ 農業振興関係

1 伊勢地域農業共済事務組合事業

農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成7市町で負担した。

伊勢市負担分 34,746,000 円

構成7市町 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

2 農業経営基盤強化促進事業

(1) 「伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」に基づき、優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、この改善計画の推進を支援した。

認定農業者件数 117 件 (平成 25 年 3 月末現在)

24 年度新規認定 11 件

(2) 効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、関係機関・団体が農地の流動化に関する情報を共有し、連携して認定農業者等への農地の利用集積を進めた。

○農業経営基盤強化促進法に基づく利用権等設定面積

区 分	面 積 (ha)
利用権設定 (累積)	447.2
H24.4~H25.3 実績	
設 定	168.7
中途解約・期限切れ等	140.0
所有権移転	2.8

3 利子補給補助事業

効率的かつ安定的な農業経営を目指す認定農業者を支援するため、経営改善のための農業近代化資金等の借入れに際し、発生する利子の一部を助成した。

資金名		借入件数	借入残高	利子補給額	備考
農業近代化資金	上半期	82 件	180,558,000 円	253,796 円	市単独事業
	下半期	85	212,706,000	252,729	
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)		8	124,598,274	317,765	うち県補助金 144,686 円

4 遊休農地活用事業

農村環境や農業経営の現場で様々な問題を引き起こす遊休農地の解消を図るため、地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、その再開に必要な草刈りや耕起など、遊休農地を営農可能な状態に回復するための支援を行った。

交付単価 補助対象経費の2分の1以内の額
ただし、50,000円/10aを上限に必要な経費を助成する

解消面積 64 a

交付額 320,000円

5 新規就農者総合支援事業費補助金

新規就農するにあたって所得の確保が課題となっていることから、経営の不安定な就農初期の青年就農者に対する給付金を給付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。

給付額 2,250,000円(750,000円(半期分)/1名×対象者3名分)

6 農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画に基づき地域内における計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向を踏まえ、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地の見直しを行った。

農用地利用計画変更面積：平成24年度除外決定分

利用計画変更分	件数	面積
農用地除外	17件	10,408 m ²
農用地編入	0	
用途変更	0	

事業費 127,500円(市単独事業)

7 農業振興事業

農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取り組みを支援することで後継者の育成確保や生産活動強化を図った。

(1) 蓮台寺柿保存育成事業補助金

350年の歴史をもち、市の天然記念物である蓮台寺柿の宅地開発等による減産傾向に歯止めをかけ、地域の特産物として保存育成するため、苗木育成、共同防除その他の事業を支援することで、栽培農家の振興と経営の安定を図った。

事業主体 蓮台寺柿保存育成研究会

事業費 388,300円

補助額 45,000円

(2) 三重県伊勢志摩指導農業士会活動助成金

地域農業のリーダーである指導農業士会が行う農業後継者育成の活動及び地域農業の振興に資する活動に対し、助成金を交付し支援を行った。

交付先 伊勢志摩指導農業士会

補助額 120,000円(20,000円/1名×市内在住6名分)

(3)三重県伊勢志摩青年農業士会活動助成金

地域農業の担い手である青年農業士会が行う農業技術向上のための研修交流及び地域農業の振興に資する活動に対し、助成金を交付し支援を行った。

交付先 伊勢志摩指導農業士会

補助額 40,000 円 (10,000 円/1名×市内在住4名分)

8 生産調整推進対策事業

米穀の需給と価格の安定を図るため、伊勢市農業再生協議会を主体とした地域農業者・農業団体が主体的に取り組む米の需給調整を推進・支援した。

生産調整推進対策の実績

	22年産	23年産	24年産
水稲作付面積目標	1,550 ha	1,666 ha	1,678 ha
作付段階における 主食用作付面積	1,774	1,741	1,658

9 農業者戸別所得補償制度推進事業

販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図った。

事業費 6,500,000 円 (全額国補助金)

10 地産地消推進事業

(1)伊勢市地産地消の店認定制度

平成19年12月に創設した「伊勢市地産地消の店認定制度」に基づき、市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。

平成24年6月19日認定店 4店舗 (内訳：飲食店3、小売店1)

※累積：48店舗 (内訳：飲食店30、宿泊施設2、小売店6、直売所5、量販店5)

事業費 143,210 円 (市単独事業)

(2)学校給食用米確保業務委託

100%市内産米の米飯給食の実施をめざし、学校給食用米(みえのえみ)の市内での生産拡大を進めるため、生産者の取りまとめ及び指導、生産者への栽培に係る追加負担分の経費の支出等を伊勢農業協同組合に委託し、事業を推進した。

委託先 伊勢農業協同組合

委託期間 平成24年6月8日～平成25年3月31日

委託内容 学校給食用米(みえのえみ)の必要数量確保に係る生産者のとりまとめ、栽培指導、生産者への補填金支出等

確保数量 4,366 袋 (131.0 t : 30kg/袋)

委託料 1,200,650 円 (市単独事業)

11 特色ある農産物づくり支援事業

有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。

事業主体 有限会社 お伊勢さん

事業内容 伊勢志摩地域の伝統食品である「きんこ芋」の生産量が年々減少しているため、原料である「はやと芋」や「紅はやと」の生産に必要な資材等を導入し、生産拡大を図った。

事業費 534,193 円

補助額 250,000 円（市単独事業）

12 農業体験学習事業

食育推進の一環として、農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食をはぐくむ産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。

事業費 642,346 円（市単独事業）

実施日	対 象	内 容	備考
24. 5. 14	東大淀小 5年生（27人）	水稲（田植え：東大淀町地内）	
〃	北浜小 5年生（29人）	水稲（田植え：村松町地内）	
〃	修道小 5年生（70人）	水稲（田植え：村松町地内）	
24. 5. 16	有緝小 5年生（99人）	水稲（田植え：小俣町地内）	
〃	宮山小 5年生（33人）	水稲（田植え：小俣町地内）	
〃	小俣小 5年生（121人）	水稲（田植え：小俣町地内）	
24. 7. 22	稲作学校参加者親子（25人）	じゃがいもの収穫体験等	
24. 9. 12	東大淀小 5年生（27人）	水稲（稲刈り：東大淀町地内）	
〃	大湊小 5年生（32人）	水稲（稲刈り：東大淀町地内）	
〃	北浜小 5年生（29人）	水稲（稲刈り：村松町地内）	
24. 9. 13	修道小 5年生（70人）	水稲（稲刈り：村松町地内）	
〃	有緝小 5年生（99人）	水稲（稲刈り：小俣町地内）	
〃	宮山小 5年生（33人）	水稲（稲刈り：小俣町地内）	
〃	小俣小 5年生（121人）	水稲（稲刈り：小俣町地内）	
24. 11. 6	佐八小 3年生（17人）	蓮台寺柿収穫体験・柿選果場見学	
24. 11. 11	小学3～6年生親子（20人）	蓮台寺柿食育体験（収穫・調理・見学）	

○ 施設管理関係

1 農業用施設維持補修

農道及び農業用排水路の機能を保持するため、修繕・浚渫工事や草刈等の業務委託、重機借上・原材料支給を行い、農村環境・農業基盤の整備を図った。

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
神 社 港 地 内	(注) 馬瀬ポンプ場堆積物 回収運搬業務委託	排水機巡視 69回 堆積物回収 22回	円 399,000	24. 4. 1	25. 3. 31

神 社 港 地 内	(注) 馬瀬ポンプ場堆積物 運搬業務委託	堆積物回収運搬 1 回	円 14,700	24. 4. 1	25. 3. 31
粟 野 町 地 内	菱川除草業務委託	草刈り 一式	66,000	24. 7. 17	24. 7. 31
中 須 町 地 内 ほか	菱川雑木伐倒処分業 務委託	雑木伐倒処分 一式	99,750	24. 10. 25	24. 10. 25
計	4 件	—	579,450	—	—

(注)維持課へ執行委任

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町三津 地 内	農業用ポンプ施設修繕 (その1) 工事	ポンプ修繕 一式	円 15,750	24. 4. 11	24. 4. 11
二見町茶屋 地 内	農業用排水路修繕工事	排水路修繕 一式	52,500	24. 6. 22	24. 6. 22
二見町庄 地 内	農道浚渫工事	農道浚渫 一式	89,250	24. 10. 2	24. 10. 3
二見町松下 地 内	農業用排水路修繕 (その2) 工事	排水路修繕 一式	257,250	24. 10. 29	24. 11. 6
二見町三津 地 内	農業用排水路修繕 (その3) 工事	排水路修繕 一式	199,500	24. 11. 6	24. 12. 14
中 須 町 地 内	農道修繕 (その1) 工事	農道修繕 一式	99,750	25. 2. 18	25. 3. 6
粟 野 町 地 内	汁谷川修繕工事	法面修繕 一式	99,750	25. 2. 26	25. 3. 6
計	7 件	—	813,750	—	—

ウ 重機借上・原材料支給

	施 行 場 所	金 額
重 機 借 上	東豊浜町地内ほか ほか7件	円 1,712,445
原 材 料 支 給	御菌町上條地内 ほか11件	635,815
計	—	2,348,260

2 農地・水保全管理支払交付金事業

(1) 共同活動支援

農業の持続的発展、農地・農業用水路等の農業用資源の持つ多面的機能の適正な発揮のため、市内 20 の農家・非農家で構成された組織で、これらの資源を地域ぐるみの共同活動で保全向上させる取り組みが行われ、それに対する支援、推進を行った。

実施地区 20 組織（一色、西豊浜森、有滝、村松、柏、上地、栗野、鹿海、上野、円座、伊勢北部（植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松）、津村、楠部、佐八、中須、馬瀬、通、小俣、磯、二見町西）

実施面積 1,301.97 ha

支援金総額 42,808,240 円（伊勢市負担分 10,702,060 円）

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

(2) 向上活動支援

農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るため、老朽化が進む農地周りの農業用排水路、農道などの施設の長寿命化のための補修・更新等の活動に対して支援を行った。支援対象については、20 組織のうち老朽化が最も進む 7 組織である。

実施地区 7 組織（一色、柏、栗野、津村、楠部、磯、二見町西）

実施面積 280.24 ha

支援金総額 11,492,000 円（伊勢市負担分 2,873,000 円）

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

3 二見しょうぶロマンの森維持管理

(1) 施設管理

伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設（「民話の駅蘇民」、「しょうぶ園」）について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、農村地域資源を活用し、地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設
- ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合
- ・指定管理委託期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 4,812,000 円
- ・施設利用状況等

期 間	開館日数	来客人数
平成 24 年 4 月	30 日	11,271 人
平成 24 年 5 月	31	12,480
平成 24 年 6 月	30	14,272
平成 24 年 7 月	31	11,880
平成 24 年 8 月	29	10,965
平成 24 年 9 月	30	10,143
平成 24 年 10 月	30	9,657
平成 24 年 11 月	30	9,873
平成 24 年 12 月	31	11,970
平成 25 年 1 月	28	9,088
平成 25 年 2 月	28	9,822
平成 25 年 3 月	31	11,663
計	359	133,084

4 伊勢市都市農山村交流促進施設管理

(1) 施設管理

横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。

- ・ 施設名 伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵「風輪」
- ・ 指定管理者 横輪町活性化委員会
- ・ 指定管理委託期間 平成 21 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日
- ・ 指定管理委託料 2,092,000 円
- ・ 施設利用状況等

期 間	開館日数	来客人数
平成 24 年 4 月	27 日	5,605 人
平成 24 年 5 月	22	872
平成 24 年 6 月	22	1,369
平成 24 年 7 月	23	746
平成 24 年 8 月	23	951
平成 24 年 9 月	23	766
平成 24 年 10 月	21	582
平成 24 年 11 月	21	1,007
平成 24 年 12 月	23	810
平成 25 年 1 月	21	529
平成 25 年 2 月	21	708
平成 25 年 3 月	23	1,211
計	270	15,156

(2) 工事関係

施設の機能向上を図るため工事を行った。

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
横 輪 町 内 地	風輪駐車場舗装工事	施工面積 A=219 m ² 舗装工 A=219 m ² 付帯工 一式	円 1,102,500	25. 3. 4	25. 3. 25

5 サンファームおばた維持管理

経営構造対策事業によって整備した産直施設であるサンファームおばたの管理運営を行い、農家の市場出荷以外の販路を確保し、農業者の経営安定、担い手の育成等を図った。

(1) 市有建物の貸付

所在地	構 造	建物面積	貸付先	貸付料 (年額)	用途	期 間
小俣町湯田 55 番地	鉄骨造折板葺 平屋建	m ² 429.12	有限会社 サンファーム おばた	円 612,000	農産物販売 (産直市)	自 24. 4. 1 至 25. 3. 31

6 伊勢市二見健康管理増進センター維持管理

(1) 施設管理

漁村環境整備事業で整備した伊勢市二見健康管理増進センターについて、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民の生活及び健康管理の向上と明るく豊かな地域づくりの増進を図った。

- ・施設名 伊勢市二見健康管理増進センター
- ・指定管理者 二見町松下区 区長
- ・指定管理委託期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 174,000 円
- ・施設利用状況等 年間利用回数 171 回
年間利用人数 1,847 人（延べ人数）

7 樋門の維持管理

流域への湛水、洪水による被害を未然に防止するため、地元自治会等へ管理を委託し、樋門の機能保持及び安全管理を図った。

(1) 県所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
東伊阿良	有 滝 町	有 滝 町 会 長	円 20,600
江 川	〃	〃	24,700
社護神	〃	〃	16,500
土路西条 4 号	西 豊 浜 町	上 区 自 治 会 区 長	16,500
土路西条 5 号	磯 町	磯 町 自 治 会 区 長	16,500
矢 田 川	楠 部 町	楠 部 町 自 治 会 会 長	20,600
津 村	津 村 町	津 村 町 区 長	16,500
宮 沼	〃	〃	20,600
名 古 新 田	二見町山田原	二 見 町 三 津 区 長	20,600
計	9 樋門	—	173,100

(2)市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
満城	磯町	磯町自治会区長	円 20,600
磯	〃	〃	16,500
相合端	〃	〃	16,500
堀の内	西豊浜町	森区自治会区長	16,500
中島	〃	小川区農事部長	16,500
郷垣外	東豊浜町	〃	14,450
中坪井	西豊浜町	〃	16,500
下坪井	東豊浜町	東豊浜町西条自治会長	16,500
浜	〃	〃	16,500
西浦	〃	〃	16,500
西条第一	〃	〃	16,500
浦ノ山	東豊浜町	土路区町会長	16,500
墓ノ浦	〃	〃	20,600
里浦	〃	〃	16,500
一本松	檜原町	檜原町会自治会長	16,500
枯木州	〃	〃	16,500
地蔵池	村松町	有滝町会長	14,450
南挟間	〃	〃	14,450
西の小端 第一	〃	〃	14,450
イナ川	有滝町	〃	16,500
西曾	〃	豊浜土地改良区理事長	17,600
亀池	村松町	村松町会長	24,700
旧汐田	東大淀町	東大淀町会長	17,600
明野	〃	〃	15,000

東 勘 坊	柏 町	柏 町 会 長	円 17,600
大 切 戸	一 色 町	一 色 町 自 治 会 区 長	20,600
戸 部 神	〃	〃	16,500
中 渠	楠 部 町	楠 部 町 自 治 会 長	17,600
小 畑	中 村 町	中 村 土 地 改 良 区 理 事 長	15,000
八 郎 兵 衛	鹿 海 町	鹿 海 町 自 治 会 長	20,600
西 新 田	〃	〃	16,500
西 沖	朝 熊 町	朝 熊 町 自 治 会 長	16,500
保 田	〃	〃	16,500
立 岩	〃	〃	14,600
貝 楠 部	〃	〃	16,500
亀 ケ 森	〃	〃	14,600
橋 第 二	〃	〃	14,600
橋	〃	〃	16,500
浜 田	〃	〃	16,500
子 良 江 古	〃	〃	16,500
雨 淵 川	上 野 町	上 野 町 区 長	16,500
西	二 見 町 西	二 見 町 西 区 長	14,450
計	42 樋 門	—	703,050

(3) 樋門小修繕

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
楠 部 町 地 内	中渠樋門操作盤修繕 工事	樋門操作盤修繕 一式	円 15,750	24. 4. 4	24. 4. 4

8 陸こう門の管理

異常気象等による洪水防止のため、漁港区域及び海岸保全区域内に設置した陸こうの維持管理及び操作を次のとおり委託した。

(1) 県所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所在地	委託先	委託料
東大淀第1・2陸こう門	東大淀町	東大淀町会長	円 11,000

(2) 市所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所在地	委託先	委託料
西条第1～6陸こう門	東豊浜町	東豊浜町西条自治会長	円 33,000
村松第1～8陸こう門	村松町	村松町会長	44,000
有滝第1～6陸こう門	有滝町	有滝町会長	33,000
土路第1～5陸こう門	東豊浜町	土路区町会長	27,500
計	4件	—	137,500

9 排水機場維持管理

(1) 農業用としてだけでなく、集落地域の雨水排水にも稼働している公共性の高い排水機場について維持管理委託、または電気代等の維持管理費を補助することにより、土地改良区等の負担軽減を図り、農業基盤の保全と農村地域の環境整備を図った。

ア 委託関係

排水機場名	所在地	委託先	委託料
野口排水機場	東大淀町	東大淀土地改良区	円 50,000

イ 補助金

排水機場名	交付先	市補助額
村松排水機場	村松土地改良区	円 859,034
野口排水機場ほか	東大淀土地改良区	78,206
有滝第2排水機場	伊勢北部土地改良区	711,128
社護神排水機場	有滝土地改良区	334,086
豊浜第2排水機場	豊浜土地改良区	26,594
計	5件	2,009,048

(2) 湛水防除事業により整備された排水機場について、施設の適正な機能保全の確保と、排水機場の運転及び各施設と連動した運転を安全、円滑に運用していくため、段階的・年次的に整備計画を立案し、更新整備を行っていく必要があることから、今後の施設更新実施に向けた基礎データ資料として活用するため、排水機場台帳を作成した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内 地内	排水機場台帳整備業務委託	排水機場台帳一式	円 493,500	25. 1.29	25. 3.25
伊勢市地内 及び契約業者事業所内	排水機場データ作成業務委託	排水機場データ作成一式	299,250	25. 2.25	25. 3.25
計	2件	—	792,750	—	—

(3)村松排水機場に設置されている除塵機において、老朽化による機能の低下が著しいため、更新整備を行った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
村松町内 地内	(注) 村松排水機場除塵機設計業務委託	除塵機設計一式	円 1,260,000	24. 8.10	24.11.16

(注)維持課より執行委任

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
村松町内 地内	(注) 村松排水機場除塵機整備工事	除塵機整備一式	円 37,540,650	24.11. 9	25. 5.31

(注)維持課より執行委任

○ 畜産関係

1 畜産飼養頭羽数

種類	肉用牛			乳牛			肉豚			採卵鶏		
	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24
頭羽数 (頭羽)	522	526	550	7	7	7	592	592	600	26,400	25,400	26,300
戸数 (戸)	6	6	6	1	1	1	1	1	1	5	5	5

2 松阪食肉公社運営事業

食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行った。

事業主体 株式会社 三重県松阪食肉公社

補助金 3,386,000円

○ 農業基盤整備関係

1 農道整備事業

農業用道路において、未舗装部分を改良することにより適切な維持管理を行い、農業用車両の安全な通行に努めた。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
津村町 地内	農道舗装（その4）工事	L = 71.8m	円 609,000	24. 6. 28	24. 8. 6
西豊浜町 地内ほか	農道舗装（その1）工事	L = 253.0m	2,128,350	24. 7. 6	24. 8. 13
磯地町 地内	農道舗装（その2）工事	L = 328.9m	1,995,000	24. 7. 6	24. 8. 22
有滝町 地内	農道舗装（その3）工事	L = 200.6m	2,845,500	24. 7. 6	24. 9. 3
西豊浜町 地内	農道舗装（その5）工事	L = 209.7m	1,294,650	24. 7. 20	24. 8. 28
神菌町 地内	農道舗装（その6）工事	L = 220.0m	1,964,550	24. 7. 20	24. 8. 29
円座町 地内	農道舗装（その7）工事	L = 345.0m	2,998,800	24. 9. 28	24. 11. 26
植山町 地内	農道舗装（その8）工事	L = 184.0m	2,277,450	24. 9. 28	24. 11. 16
佐八町 地内	農道舗装（その9）工事	L = 150.0m	1,351,350	24. 12. 7	25. 2. 14
有滝町 地内	農道整備工事	L = 14.0m	1,089,900	25. 2. 14	25. 3. 22
計	10件	—	18,554,550	—	—

2 農業用排水路整備事業

農業用排水路において、老朽化した路線を改良することにより、排水機能の回復と環境整備を行った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
上地町 地内	農業用排水路（その1）工事	L = 105.0m	円 1,830,150	24. 7. 6	24. 8. 22
上野町 地内	農業用排水路（その2）工事	L = 21.0m	997,500	24. 9. 14	24. 11. 12
上地町 地内	農業用排水路（その3）工事	L = 195.0m	1,545,600	24. 10. 19	25. 1. 15
〃	農業用排水路（その4）工事	L = 85.5m	1,765,050	24. 11. 22	25. 1. 15

二見町 庄内地	農業用排水路（その6）工事	L = 41.0m	円 2,517,900	24.12.21	25.2.28
東大淀町 地内	農業用排水路（その5）工事	L = 133.1m	1,558,200	25.1.25	25.3.19
計	6件	—	10,214,400	—	—

3 給水栓整備事業

当該地区の農業用用水施設は水資源が十分に確保できず営農活動に支障をきたしている。このため給水栓整備を行い、農家の水資源有効活用と労働生産性の向上を行い農業経営の安定を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
西豊浜町 地内	給水栓設置工事	給水栓設置 51か所	円 3,388,350	24.11.9	25.1.18

4 土地改良事業補助

農業経営の安定に資するため、土地改良事業を補助し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を図った。

(1) 県営事業負担金

事業名	工事概要	事業費	市負担
平成23年度 県営ため池等整備事業 戸部神地区	仮設工、堤体復旧工、 本体工、吐水槽工 一式	円 215,000,000	(注1) 円 43,000,000
平成23年度 県営かんがい排水事業 宮川2工区	用水路工 一式 水管理システム 一式	140,000,000	(注1) 2,457,000
平成23年度 県営かんがい排水事業 宮川4工区	用水路工 L = 568.9m	200,000,000	(注1) 30,000,000
平成23年度 県営かんがい排水事業 宮川4工区その2	用水路工 L = 222.0m 水管理システム 一式	90,000,000	(注1) 13,491,630
平成23年度 経営体育成基盤整備事業 有田地区	幹線用水路 L = 319m 支線用水路 L = 1,605m	180,300,000	(注1) 1,971,038
平成23年度 経営体育成基盤整備事業 小俣地区	幹線用水路 L = 2,640m 支線用水路 L = 163m 農道整備 L = 1,091m	500,000,000	(注1) 52,374,974
平成23年度 県営ふるさと農道整備事業 松下地区	橋梁工、法面工 一式	220,000,000	(注1) 77,000,000
平成24年度 県営ため池等整備事業 戸部神地区	仮設工、堤体復旧工、 本体工、機械工 一式	205,000,000	(注2) 41,000,000
平成24年度 県営かんがい排水事業 宮川2工区	用水路工 一式	10,000,000	175,500

平成 24 年度 県営かんがい排水事業 宮川 4 工区	用水路工 L=200m	255,000,000 円	(注 2) 円 38,250,000
平成 24 年度 県営かんがい排水事業 宮川 4 工区その 2	水管理システム 一式	50,000,000	(注 2) 7,495,350
平成 24 年度 経営体育成基盤整備事業 小俣地区	幹線用水路 L=90m 支線用水路 L=9,289m	395,100,000	(注 2) 10,011,317
平成 24 年度 経営体育成基盤整備事業 有田地区	幹線用水施設工 一式 支線用水路 L=1,549m	95,000,000	(注 3) 1,020,900
平成 24 年度 経営体育成基盤整備事業 城田・下外城田地区	実施計画策定 一式	1,890,000	238,383
平成 24 年度 県営ふるさと農道整備事業 松下地区	舗装工、補償 一式	40,000,000	(注 2) 14,000,000
計	15 件	2,597,290,000	332,486,092

(注 1) 平成 23 年度から一部繰越

(注 2) 平成 25 年度へ一部繰越

(注 3) 平成 23 年度までの市負担額において充足済

(2) 補助金

補助金支出先	施行 年度	事業名	事業概要	市補助額
宮川用水 土地改良区	昭和 62~ 平成 3	県営施設整備事業市町 村負担金	用水路工事	円 (注) 746,000
〃	平成 24	土地改良施設維持管理 適正化事業(34・36 期 生)	揚水機場整備補 修工事	2,000,000
〃	平成 24	土地改良施設維持管理 適正化事業(35 期生)	揚水機場整備補 修工事	1,000,000
〃	平成 24	県営事業 城田・下外 城田地区計画調査業 務	計画策定業務	1,626,000
〃	平成 23	県単土地基盤整備事業 (干害応急対策) 大台町上菅揚水機渇水 対策による仮設ポンプ 据付工事	仮設ポンプ据付 工事	212,000
伊勢北部 土地改良区	平成 6 ~ 15	県営ほ場整備事業(伊 勢北部地区)	区画整理工事	(注) 12,820,782

伊勢北部 土地改良区	平成5	県営ほ場整備事業（伊勢北部地区）	区画整理工事	(注) 円 685,141
豊浜 土地改良区	平成5 ～ 11	団体営土地改良総合整備事業（豊浜・森・小川地区）	用水施設整備他	(注) 24,637,159
〃	平成 13～ 15	基盤整備促進事業（大方後地区）	用水路工事他	(注) 886,730
朝熊 土地改良区	平成4	団体営土地改良総合整備事業（小規模排水）名古屋砂地区	用排水施設整備ほか	(注) 2,828,970
五十鈴川用水 土地改良区	平成 24	県営かんがい排水事業（鹿海、一色地区）	木出頭首工維持管理事業	398,358
宮川左岸第二 土地改良区	平成 24	農地整備事業（経営体育成型）事業計画策定業務	計画策定業務	7,404,000
〃	平成 24	土地改良施設維持管理適正化事業	用水管修繕工事	80,000
村松 土地改良区	平成 24	農業用排水路整備工事	排水路工事	1,730,000
小俣町 土地改良区	平成 24	高度水利機能確保基盤整備事業用水路その7工事に伴う給水管工事	給水管工事	18,700
〃	平成 24	農業用排水施設整備工事	排水施設整備工事	70,000
上区自治会 農政部	平成 24	漏水補修工事	用水管補修工事	104,000
朝熊川 水利組合	平成 24	応急漏水防止工事	漏水防止工事、漏水原因調査	467,000
上野町自治会	平成 24	松林沖水路工事	用水路補修工事	340,000
計	19件	—	—	58,054,840

(注) 市補助額欄の(注)印は、償還金に対する補助金額

5 農村振興整備事業

近年の農業のおかれている状況は、農家数及び農地の減少、農産物の輸入自由化による価格の低迷と生産意欲の減退、労働力の高齢化と後継者の不在等と大変厳しいものである。こうした状況に応じて、農業生産基盤整備、農村環境基盤整備を進めることで、優良農地の適正な管理、営農環境の保全及び生活環境の改善に努め、地域の活性化を図った。

(1) 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業

農業従事者の高齢化、後継者不足が進む中、基盤整備を実施することで離農者及び離農村者を抑制し、地域住民の定住化を図った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
中須町 内地	農排 3-8 号工事に伴う設計業務委託	設計業務 1 式	円 493,500	24. 5. 18	24. 7. 11
一之木 4 丁目 地内ほか	環保 3-1 号工事に伴う測量業務委託	L = 130.0m	1,377,600	24. 7. 27	24. 11. 2
〃	環保 3-1 号工事に伴う設計業務委託	設計業務 1 式	997,500	24. 8. 10	25. 3. 18
計	3 件	—	2,868,600	—	—

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町明野 地内	農排 3-5 号工事	L = 363.6m	円 8,198,400	24. 10. 19	24. 12. 28
馬瀬町 地内	農排 3-1 号工事	L = 472.5m	10,282,650	24. 10. 19	25. 2. 5
中須町 内地	農排 3-8 号工事	L = 246.7m	15,801,450	24. 10. 19	25. 3. 8
檜原町 地内	集道 3-3 号工事	L = 142.4m	42,123,900	24. 11. 2	25. 3. 15
一色町 地内	集道 3-5 号土木工事	L = 273.5m	27,106,800	24. 11. 2	25. 3. 19
通地町 地内	集道 3-4 号工事	L = 228.0m	43,535,100	24. 11. 16	25. 3. 21
柏地町 地内	農排 3-6 号工事	L = 262.2m	9,710,400	24. 11. 30	25. 3. 15
小俣町湯田 地内	農排 3-11 号工事	L = 288.3m	7,166,250	24. 12. 21	25. 3. 11
一色町 地内	集道 3-5 号舗装工事	L = 60.0m	840,000	25. 1. 30	25. 3. 25
計	9 件	—	164,764,950	—	—

ウ 用地買収関係

場所	地権者数	筆数	面積	金額
通地町 地内	人 1	筆 1	m ² 18.3	円 530,700

一 地	色 町 内	人 23	筆 28	m ² 390.45	円 1,757,025
計		24	29	408.75	2,287,725

6 技術援助事業

土地改良区が実施する修繕工事等について、設計・監督等の技術援助を行い、土地改良区の負担軽減を図った。

事業主体	工事名
小俣町土地改良区	農業用排水施設整備工事
村松土地改良区	農業用排水路整備工事
村松土地改良区	農道舗装工事
計	3件

○ 林業関係

1 林道修繕事業

雨水等により道路法面が崩れ、通行に支障をきたしているため、必要な工事を施し、林道の機能回復を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
朝 地	熊 町 内	朝熊町林道舗装工事	円 241,500	24.10.12	24.11.30
〃	〃	黒岩橋修繕 L=9.0m	378,000	25.2.20	25.3.4
計	2件	—	619,500	—	—

2 環境保全林管理事業

(1)市民の憩いの場である三郷山、音無山生活環境保全林及び横輪環境保全林において、清掃、草刈、修繕工事等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
浦 地	口 町 内	三郷山清掃業務委託	円 300,000	24.4.1	25.3.15
二見町茶屋 地内ほか	音無山管理業務委託	管理業務一式	489,180	24.4.1	25.3.31
横 地	輪 町 内	宮山管理業務委託	300,000	24.5.1	25.3.15
浦 地	口 町 内	三郷山草刈等(その1) 業務委託	780,000	24.5.18	24.7.20
		草刈りほか 24,700 m ²			

横 地	輪 町 内	横輪環境保全林管理業務委託	管理業務 10,580 m ²	円 900,000	24. 5. 25	25. 3. 15
浦 地	口 町 内	三郷山給水施設衛生管理 業務委託	給水施設 清掃・点検一式	29,872	24. 7. 4	24. 7. 25
	〃	三郷山草刈等（その2） 業務委託	草刈り 24,700 m ²	514,500	24. 10. 22	24. 11. 30
	計	7件	—	3,313,552	—	—

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町茶屋 地内ほか	音無山消火器取替工事	消火器取替 N=2本	円 66,780	24. 9. 3	24. 10. 26
二見町茶屋 地内	音無山駐車場車止め 修繕工事	車止め修繕 N=1か所	12,600	24. 10. 26	24. 10. 26
〃	音無山トイレ修繕工事	トイレ修繕 N=1か所	34,650	24. 12. 26	24. 12. 28
	計	3件	—	—	—

(2)横輪環境保全林の境界及び面積を明確にすることにより、市の財産を把握し更なる維持管理の向上を図るため、年次計画に基づき用地測量を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了	
横 地	輪 町 内	横輪環境保全林用地測量 業務委託	用地測量 A=7.7ha	円 8,909,250	24. 11. 2	25. 2. 28

3 森林環境創造事業

音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行うものであり、平成14年度からいせしま森林組合に委託しているもので、本年度は4.24ha実施した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町江 地内ほか	音無山施設管理業務委託	下刈り 歩道草刈り A=4.24ha	円 853,650	24. 8. 1	24. 9. 28

4 森林病虫害防除事業

海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町西 地内ほか	松くい虫防除（地上散布） 業務委託	薬剤散布 A=17.2ha	円 1,358,700	24. 5. 30	24. 7. 6

村松町 地内ほか	村松松林ほか下刈業務委託	下刈り A=10,000 m ²	円 170,000	24. 7. 17	24. 8. 31
二見町西 地内ほか	二見保安林下刈業務委託	下刈り A=3.2ha	934,500	24. 7. 25	24. 9. 21
〃	松くい虫防除（伐倒破砕） 業務委託	枯松伐倒駆除	575,400	24. 12. 26	25. 3. 15
村松町 地内ほか	松くい虫防除（樹幹注入） 業務委託	薬剤樹幹注入	1,176,000	25. 1. 30	25. 2. 28
二見町荘 地内ほか	危険木伐倒駆除業務委託	枯れ松伐倒	99,750	25. 3. 14	25. 3. 22
計	6件	—	4,314,350	—	—

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町今一色 地内	二見松林整備工事	松林整備 A=400 m ²	円 714,000	24. 4. 13	24. 4. 23
〃	二見松林整備（その2）工事	松林整備 A=800 m ²	1,249,500	24. 10. 24	24. 11. 12
計	2件	—	1,963,500	—	—

5 獣害防止事業

(1) 有害鳥獣駆除

農林作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除するため、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、捕獲許可事務を行った。

件数	延べ人員	総捕獲数（頭・羽）	
36件	278人	イノシシ（子）： 77 シカ： 147 ゴイサギ： 2	イノシシ： 218 サル： 28 ドバト： 0

(2) 獣害防止事業委託

(1)のうち、狩猟期間外の捕獲を伊勢地区猟友会に委託し、農林作物及び生活環境等の被害軽減に努めた。【猪（子）：3,000円/1頭 猪・鹿：5,000円/1頭 猿：10,000円/1頭】

平成24年度捕獲実績（頭） ※協議会委託分含む（総捕獲数から狩猟期間内を除く）			
イノシシ（子）： 77	イノシシ： 128	シカ： 106	サル： 25

事業費 1,151,000円（市単独事業）

(3) 伊勢市鳥獣被害防止対策協議会

増加傾向にある野生鳥獣による農作物等被害防止を目的に、平成20年11月に設立された伊勢市鳥獣被害防止対策協議会において、関係機関と一体となって鳥獣害防止総合対策事業に取り組んだ。

事業内容	金額	備考
防護柵整備	10,118,110 円	大倉町ほか 6 地区
捕獲檻導入	1,195,845	猪・鹿用 9 台、猿用 13 台
有害鳥獣駆除委託	500,735	委託先：伊勢地区猟友会
狩猟免許取得推進	26,000	初心者講習受講料 2 人
受信機購入	260,670	発信機付サル追跡用 3 台
受信機消耗品購入	16,485	アンテナケーブル
その他協議会運営費	265	文具
計	12,118,110	

事業費 12,118,110 円 (国：10,996,000 円 市：1,000,000 円 地元負担 122,110 円)

(4) 委託関係

集落への野生鳥獣の出現の減少を図るため、公益的機能が適正に発揮され、下草等の植生が豊かで野生鳥獣の生息しやすい森林づくりのため、更新伐を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
横輪町 地内	(注) 横輪町更新伐業務委託	更新伐 A=15.0ha	円 4,102,350	25. 2.20	25. 5.31

(注) 平成 25 年度へ一部繰越

6 鳥獣保護等事業

(1) 鳥獣飼養許可

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、メジロ等の飼養許可事務を実施した。

交付件数 3 件 (メジロ：更新 3 件)

手数料収入 10,200 円 (手数料 1 件 3,400 円)

○ 水産振興関係

1 漁業の実態

市内には海面の漁協として、伊勢市から明和町を範囲とする伊勢湾漁業協同組合があり、内水面には宮川漁業協同組合がある。

伊勢市の海面漁業形態は、主にアサリ採貝漁業、のり養殖業、小型機船底曳網漁業とし、その他には刺網漁業等が営まれている。

組合員数は下記のとおりで、生産状況は貝類 (アサリ等) が 666 t、魚類等が 157 t、くろのりは 3,961 万枚となっている。

(1) 組合員数

(単位:人)

区分	漁協名	平成24年度			平成23年度			
		正組合員	准組合員	計	正組合員	准組合員	計	
海面	伊勢湾漁業協同組合 (伊勢市管内分)	東大淀	2	116	118	3	136	139
		村松	30	86	116	30	95	125
		有滝	21	105	126	28	104	132
		東豊浜	18	218	236	19	233	252
		大湊	9	18	27	10	18	28
		一色	4	50	54	4	51	55
		神社	0	15	15	0	16	16
		今一色	57	21	78	60	20	80
		江	1	43	44	1	49	50
		松下	9	54	63	13	51	64
		合計	151	726	877	168	773	941
内水面	宮川漁協	891	1,098	1,989	921	1,282	2,203	
	内伊勢市管内	254	198	452	260	225	485	

(注)宮川漁協は各年度12月31日現在

(各年度4月1日現在)

(2) 漁業生産状況

(単位:kg(くろのりは千枚))

種類	平成24年度	平成23年度
魚類	114,667	121,965
水産動物類	42,198	55,207
アサリ	607,035	409,063
その他の貝類	59,011	12,938
くろのり	39,610	35,404
あおのり	1,451	855

(3) 漁船数

(単位:隻)

地区名	3t未満	3t以上 5t未満	5t以上 10t未満	10t以上	計
東大淀	50	2	0	0	52
村松	42	5	7	0	54
有滝	55	3	14	0	72
東豊浜	70	7	7	0	84
大湊	18	0	0	0	18
一色	14	0	1	0	15
神社	1	0	0	0	1

今一色	175	5	0	1	181
江	38	0	0	0	38
松 下	29	0	0	0	29
合 計	492	22	29	1	544

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

(4) 漁業就業者の年齢構成

(単位：人)

区 分	男	女	計
20 歳未満	0	0	0
20～30 未満	2	0	2
30～40 未満	4	0	4
40～50 未満	15	8	23
50～60 未満	31	23	54
60～70 未満	66	62	128
70 歳以上	134	71	205
計	252	164	416
平均年齢 (歳)	67.7	66.4	67.2

(平成 24 年 4 月 1 日現在)

2 水産振興事業

(1) 水産教室実施事業

水産業を将来就く職業の一つとして考えてもらうために、市立浜郷小学校 5 年生 (58 名)、市立北浜小学校 5 年生 (29 名) に対して、漁業に関する講習を行い、体験実習・施設見学をしてもらうことで、漁村・漁業への興味の高揚を図った。

実施場所	内 容	事業費	開催日
黒 瀬 町 村 松 町 二見町今一色 地 内	○講習：「伊勢市の漁業の概要」「のり養殖業」 ○体験実習：「のりすき体験」 ○施設見学：「のり加工施設」「のり検査倉庫」	円 111,840	25. 2. 5 25. 2. 13 25. 2. 28

(2) 魚礁効果調査事業

昭和 54 年から平成 10 年までの間に伊勢市地先に設置した魚礁と、平成 14 年から平成 22 年までの間に覆砂したアサリ漁場について、潜水等調査により、魚礁の設置状況や魚類等の集積状況、覆砂漁場の現況を把握し、適切な施設の維持管理及び設置等効果を検証し、操業の効率性・安全性の向上を図った。

実施場所	内 容	調査箇所数	事業費	実施期間
東大淀町 地先ほか	魚礁の設置状況（位置・水深・現況など）、魚礁への魚類・水産動物類等の集状況、魚礁表面への海藻類等の付着状況 など	6 か所	円 1,085,700	24.10～25.2

(3) 干潟保全活動支援事業

水生生物の産卵場、幼稚魚の保育場など水産資源の保護・培養のほか、水質浄化などの役割をもつ干潟は、近年、海洋環境の悪化などにより機能が低下しているため、地区漁業者が中心となる活動組織が干潟保全活動を行い、干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。

実施主体	実施場所	内 容	負担金	実施期間
今一色 干潟保全会	二見町 今一色 地先干潟	計画づくり、モニタリング、保全活動（耕うん、保護区域の設定、稚貝等の沈着促進、浮遊・堆積物の除去）	円 575,000	24.4～25.3

(4) 各種補助金事業

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成 果
アサリ養殖 振興事業	伊勢湾 漁業協同 組合	二見町今一色地先ほか にアサリ種苗を放流 放流量 10 t	円 2,691,686	円 807,000	アサリ資源の増大と漁家経営の安定、アサリの浄化作用による環境保全を図った。
種苗（クルマエビ等） 育成事業	伊勢湾 漁業協同 組合	クルマエビ 100万尾 ヨシエビ 50万尾 クロダイ 6千尾 ヒラメ 13千尾 ナマコ 1万尾 各種苗を松阪市松名瀬 地先～伊勢市二見町 松下地先に放流	2,700,000	192,000	クルマエビ・ヨシエビ・ヒラメ（中間育成後）、クロダイ・ナマコの種苗を放流し、資源の増大と漁家経営の安定を図った。
稚鮎等放流 事業	宮川漁業 協同組合	アユ 4,050 kg ウナギ 70 kg アマゴ 100 kg 各種苗を宮川流域に 放流	12,967,500	600,000	宮川流域のアユ・ウナギ・アマゴの資源の増大と生産の向上を図った。
漁業近代化 資金利子 補給	三重県 信用漁業 協同組合 連合会	東日本大震災で被害を受けた漁業者の資金借りに生じる利子を補給 借入件数 10件	22,507,232	168,804	復旧に必要な資金の借りに生じる利子の円滑化と漁業経営の再生を図った。
計	4件	—	40,866,418	1,767,804	—

(5)栽培漁業の指導・推進

伊勢湾漁業協同組合が取組むクルマエビ、ヨシエビ、クロダイ、ヒラメ、ナマコの種苗放流について、放流適地・放流方法について指導した。

なお、平成 17 年度に完成した伊勢湾南部中間育成施設（県営）でのクルマエビ、ヒラメの中間育成が実施され、放流サイズが大きくなり、生残率も向上した。

(6)アサリ勉強会

伊勢市の漁業の中心であるアサリ採貝漁業は、昭和 60 年頃をピークに経営体数、漁獲量とともに減少の一途をたどっており、その状況を打開するために、漁協・漁業者と協働で、平成 21 年 2 月に発足した「アサリ勉強会」や漁連・漁協・漁業者・県等と連携する中で、平成 22 年 3 月に発足した「三重県あさり協議会」を通じて、資源確保や生産力向上のため、問題・課題の把握からその解決策の検討・実施に向けて取り組んでいる。

(7)勢田川浄化事業

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	(注) アサリ稚貝放流業務委託	稚貝放流 一式	円 1,200,000	24. 4. 23	25. 3. 8

(注)維持課より執行委任

○ 漁港管理関係

1 漁港の施設

漁港名	種別	外郭施設		係留施設	
		23年度末 現在	24年度末 現在	23年度末 現在	24年度末 現在
村松	第1種	1,403 ^m	1,403 ^m	486 ^m	487 ^m
江	第1種	1,564	1,564	261	261
松下	第1種	503	503	101	101
豊北	第2種	5,868	5,868	1,825	1,825
計	—	9,338	9,338	2,673	2,674

2 漁港・海岸維持管理事業

伊勢市が管理する漁港の安全対策や標識灯の点検業務委託を行い、施設の機能維持を図った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東豊浜町 地先	豊北漁港標識灯 保守点検業務委託	標識灯点検 N=3 基	円 68,250	24. 9. 3	24. 9. 28

イ 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町松下地内	松下漁港外灯修繕工事	外灯修繕 N=1 か所	円 6,300	24. 4. 10	24. 4. 13
東豊浜町先地	豊北漁港標識灯修繕工事	灯器交換工 N=1 か所	273,000	24. 10. 17	24. 11. 15
東豊浜町内地	豊北漁港陸閘修繕工事	陸閘修繕 N=1 基	21,000	24. 10. 22	24. 10. 26
村松町内地	村松漁港集水柵修繕工事	集水柵修繕 N=1 か所	163,800	25. 3. 1	25. 3. 25
計	4 件	—	464,100	—	—

ウ 補助金関係

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成果
村松漁港漁船保全修理施設改修事業	伊勢湾漁業協同組合	斜路軌条部の改修延長 L=45m	円 1,407,000	円 281,000	腐食等により老朽化した軌条部を改修したことで、施設の安全確保と、利便性の向上を図った。

エ 重機借上関係

	施行場所	金額
重機借上	豊北漁港 東豊浜町地内	円 213,570
重機借上	豊北漁港 有滝町地内	232,680
計	2 件	446,250

3 水産物供給基盤機能保全事業

漁港施設の経年による老朽化が著しいことから、効果的・効率的な施設の改良・更新による施設の長寿命化を図るため、施設の老朽化機能診断に基づいて、機能保全計画書を作成した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
村松町内地	(注) 村松漁港機能保全計画書 作成業務委託	保全計画書作成 1 式	円 4,758,600	24. 8. 10	25. 1. 4

(注) 平成 23 年度から繰越

○ 漁港建設関係

1 津波・高潮危機管理対策緊急事業

漁港区域内における護岸の老朽化が著しいことから、早期に改修を行い、背後地の住民の生命・財産を守るため、護岸工を行った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町地内	(注) 豊北漁港 護岸改良工事	施工延長 L= 56.5m 護岸改良工 (鋼矢板Ⅱw型 L=7.5m) L= 65.4m 護岸改良工 (鋼矢板Ⅱw型 L=5.5m) L= 5.4m	円 36,501,150	24.10.26	25.3.15

(注) 平成 23 年度から繰越

○ 緊急雇用対策関係

1 獣害対策強化事業

5月1日から10月31日までの6か月間、臨時職員を2名雇用し、獣害被害を受けている地域を重点的にパトロールし、野生動物出没時の追払いや、発信機付き猿群れの動向を調査して情報提供を行うなど、被害軽減に努めた。

事業費 2,839,501 円

2 生活環境被害対策サポート事業

平成 25 年 1 月 10 日から平成 25 年 3 月 31 日までの期間、臨時職員を雇用し、野生獣による生活環境被害を受けている地域を重点的にパトロールするとともに、被害をもたらすサル群れの位置情報の発信や、イノシシにより発掘された法面の補修等所業務を行った。

事業費 1,171,843 円

3 営農活性化事業

既存の農業用施設台帳について、施設の現況調査と調書内容の修正や整合性のチェックと更新を行うためのデータ整理を行い、台帳未整備の施設については、施設に関する情報収集と現地調査、及び台帳化のための基礎情報データ化等の整理を行うことで、農業用施設台帳の更新・整備を図った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内地	農業用施設台帳整備業務委託（緊急雇用創出事業）	台帳整備 一式	円 2,625,000	24.9.12	25.3.8

○ 災害復旧関係

1 漁港等災害復旧事業

平成 24 年 9 月 30 日に発生した台風 17 号により、豊北漁港・村松漁港・大淀漁港の港内にゴミが漂着し、漁船の航行に支障となっていたため、これらの撤去を行い、船舶の航路回復と安全航行の確保を図った。

ア 重機借上関係

	施行場所	金額
重機借上	大淀漁港 東大淀町内	円 123,375
重機借上	村松漁港 村松町地内	504,525
重機借上	豊北漁港 有滝町地内	70,455
重機借上	豊北漁港 東豊浜町地内	332,535
計	4 件	1,030,890

○ 他課関係依頼工事

他課から依頼があった次の業務について、その設計及び監督を行った。

ア 工事関係

所属	施行場所	工事名	工事概要	金額
観光事業課	中島 2 丁目 地内ほか	第 60 回全国花火大会施設 工事	放揚施設工 一式 会場周辺安全施設工一式 場内施設工 一式 付帯工 一式	円 29,696,100
〃	〃	第 60 回全国花火大会電 気設備工事	電話・電灯設備 一式 仮設工事 一式 施設撤去 一式	2,774,100
生活支援課	御薊町長屋 地内	ハートプラザみその正 面玄関前段差解消工事 (舗装工事)	舗装工 A = 117 m ²	472,500
〃	〃	ハートプラザみその正 面玄関前段差解消工事 (土木工事)	インターロッキング設置・撤去 A = 16.3 m ²	99,750
消防課	下野町 地内ほか	消防水利蓋改修工事	防火水槽蓋改修 8 か所 防火井戸閉塞 1 か所	1,734,600
計	5 件	—	—	34,777,050

観 光 企 画 課

平成 24 年は、国内では 3 月の九州新幹線の全線開業、4 月の新東名高速道の開通、5 月の東京スカイツリー開業と、上半期に大型プロジェクトが相次ぎました。また海外では、7 月から 8 月のロンドンオリンピックの開催、8 月の竹島問題、9 月の尖閣諸島問題による日韓・日中関係の悪化等があり、国内外ともに観光を取り巻く状況は大きく変動しました。

このような状況の中、伊勢市では 4 月 7 日に「せんぐう館」が開館し、また外宮参拝促進の各種取り組みとの相乗効果が実を結び、外宮参拝客数が平成 23 年より約 28 万人多い、約 252 万人を記録しました。結果、年間神宮参拝客数が両宮あわせて約 803 万人となり、再び 800 万人台を突破しました。またこのうち外国人観光客については、東日本大震災等の影響がおおむね解消し、平成 23 年より約 1 万 3 千人多い、約 4 万人となりました。

一方で市内有料観光施設は平成 23 年と比べて全体的に減少傾向にあり、今後の課題となっています。

○ もてなし心醸成事業

1 伊勢活性化プロジェクト事業

(1) 伊勢観光活性化プロジェクト会議の開催

伊勢を訪れる人々に満足していただくため、どのように伊勢の観光まちづくりを展開していけばよいかを市民、事業者、団体、行政がみんなで考え、そして実行につなげようと、平成 19 年 9 月から活動を開始しました。平成 24 年度は最終年度として、「人」「食」「環境」のそれぞれの成果を確認し、今後について部会で話し合いました。また事業の成果を整理し「外宮前名物・御饌井」のホームページに掲載し、いつでも振り返り活用できる状態にしました。

参加数：団体参加数 47 団体 56 人、個人参加数 33 人 計 89 人 (H25. 3 月末現在)

会議開催数：全体会議 2 回、世話人会 4 回、食部会 10 回、人部会 12 回、環境部会 9 回

(2) 外宮前名物「御饌井（みけどん）」事業

外宮のお膝元から食への感謝を発信しようと、22 年度に「外宮前名物・御饌井の会」を立ち上げ、取り組みを開始しました。

御饌井取扱い店舗：16 店舗

御饌井販売個数：総計 21,720 食（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月分）

マスコミ掲載：45 件

2 バリアフリー観光向上事業

日本全体が高齢化し人口減少社会へ向かう中、高齢者や障がいを持つ方に観光旅行を楽しんでいただく基盤を整え、新たなマーケットを掘り起こすことで国内からの伊勢への宿泊旅行者数を増加させることを目的に、市内観光宿泊施設に対し、バリアフリー観光の無料相談やバリアフリー改修補助金の交付（1／2補助・上限400万円）などの支援を行いました。

勉強会：第1回（伊勢会場） 平成24年5月29日開催

参加 宿泊施設 11施設14名

建設・設計事業者 6事業者7名 その他1名

第2回（二見会場） 平成24年6月26日開催

参加 宿泊施設 10施設10名

建設・設計事業者 4事業者4名

無料相談：初期診断利用回数 11回

工事施工にかかる相談利用施設 10施設

改修補助：利用施設数 10施設

交付額総額15,099,000円（補助対象事業総額 31,555,028円）

3 災害に強い観光地づくり事業

災害に対する備えは住民のためだけでなく、観光客のためにも重要です。特に当市では、日によって観光客の数が住民の数をはるかに超える時があるため、発災時の避難対策は、重要性、緊急性が高くなります。

このような視点から、24年度は専門家による講演会開催の後、市内二つの観光地域で勉強会を重ね、避難マップの作成や避難マニュアルの検討を行いました。

講演会：平成24年5月30日開催

勉強会：外宮地域 2回開催 二見地域 10回開催

○ 観光振興基本計画策定事業

1 観光振興基本計画策定事業

平成19年度に策定した現行の観光振興基本計画が平成25年度に目標年次を迎えるため、次期計画策定に着手しました。

次期計画は第62回神宮式年遷宮以降の観光振興の新しい指針とするべく、種々の調査、検証、検討の上で策定します。

平成24年度はプロポーザルにより委託先を決定し、一部調査を開始しました。

また、有識者や地元観光関連団体の代表者からなる観光振興基本計画策定推進会議を立ち上げ、調査設計の検討や策定スケジュールの確認などを実施しました。

委託先：株式会社リクルートホールディングス

委託金額：8,347,500円

委託期間：平成24年12月4日～平成26年3月25日

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 観光情報発信事業

(1) 媒体広告宣伝による誘客活動

新聞や雑誌等の広告媒体を活用し情報発信を行いました。この内広告展開においては、伊勢志摩観光コンベンション機構、三重県、周辺市町、伊勢志摩キャンペーン等において実施する広告と地域、ターゲットが重複しないよう、棲み分けに努めています。また伊勢市独自の手法として、ターゲットとなる地域や客層を見据えた企画持込を実施し、データ入稿、広告媒体の空き紙面活用などの工夫により、経費削減につなげました。

平成 20 年度決算額・・・2,198 千円（掲載件数 34 件）

平成 21 年度決算額・・・4,418 千円（掲載件数 55 件）

平成 22 年度決算額・・・4,419 千円（掲載件数 54 件）

平成 23 年度決算額・・・5,020 千円（掲載件数 57 件）

平成 24 年度決算額・・・6,576 千円（掲載件数 75 件）

平成 24 年度実績

	媒体名	掲載日	備考		媒体名	掲載日	備考
1	月刊九州王国	4.15	九州	41	w o m o 浜松版	11.22	浜松周辺
2	信毎ほっとパル	5.24	長野（北信）	42	プースカフェ	11.24	長野（北信）
3	遊んどこっ	6.1	全国	43	別冊伊勢人	12.1	三重
4	市民タイムス	6.5	長野（中信）	44	t o m a t o	12.1	広島
5	旬刊旅行新聞	6.11	全国	45	市民タイムス	12.3	長野（中信）
6	オントナ	6.20	北海道	46	週刊まつもと	12.7	長野（中信）
7	POROCO	6.20	北海道	47	ハイウェイマップ	12.15	東海近畿
8	E L F	6.20	福岡	48	中日ショッパー浜松	12.14	浜松周辺
9	W I N K	6.23	広島	49	D o ! s u l	12.20	長野（北信）
10	オフィスガジン GaRiYa!	6.25	福岡	50	遊んどこっ	12.26	全国
11	週刊いいだ	6.28	長野（南信）	51	a . u n	12.28	静岡
12	w o m o 浜松版	6.28	浜松周辺	52	信濃毎日新聞	1.1	長野
13	a . u n	6.30	静岡	53	信濃毎日新聞	1.3	長野
14	プースカフェ	6.30	長野（北信）	54	POROCO	1.19	北海道
15	t o m a t o	7.1	広島	55	オントナ	1.30	北海道
16	週刊まつもと	7.6	長野（中信）	56	伊勢人	2.1	三重
17	奈良新聞&リビング	7.7	奈良	57	月刊かみいな	2.22	長野（南信）
18	聖教新聞	7.8	東海3県	58	プースカフェ	2.23	長野（北信）
19	週刊いな	7.12	長野（南信）	59	中日新聞	2.25	県内
20	中日新聞	7.11、18	県内	60	a . u n	2.28	静岡
21	月刊九州王国	7.15	九州	61	t o m a t o	2.28	広島
22	中日ショッパー浜松	8.10	浜松周辺	62	w o m o 浜松版	2.28	浜松周辺
23	別冊 Simple	8.31	四日市	63	遊んどこっ	3.1	全国
24	別冊 Simple	8.31	鈴鹿	64	週刊いな	3.7	長野（南信）
25	遊んどこっ	9.1	全国	65	週刊まつもと	3.8	長野（中信）
26	t o m a t o	9.1	広島	66	毎日新聞	3.12	三重

27	オントナ	9.12	北海道
28	E L F	9.20	福岡
29	D o ! s u l	9.20	長野（北信）
30	W I N K	9.23	広島
31	週刊いいだ	9.27	長野（南信）
32	w o m o 浜松版	9.27	浜松周辺
33	週刊まつもと	9.28	長野（中信）
34	中日ショッパー浜松	9.28	浜松周辺
35	プースカフェ	9.29	長野（北信）
36	P O R O C O	10.20	北海道
37	旬刊旅行新聞	10.21	全国
38	月刊かみいな	10.26	長野（南信）
39	月刊九州王国	11.15	九州
40	E L F	11.19	福岡

67	P O R O C O	3.15	北海道
68	C H I C	3.15	広島
69	E L F	3.19	福岡
70	P O R O C O	3.20	北海道
71	オントナ	3.21	北海道
72	D o ! s u l	3.21	長野（北信）
73	中日ショッパー浜松	3.22	浜松周辺
74	別冊 Simple	3.28	三重
75	月刊かみいな	4.26	長野（南信）
全 75 誌・発行部数累計 14,452,698 部			

（２）バス車体広告

平成 23 年度に施工した観光バス（大型車）への全面広告車両の運行を継続して委託し、県内外各地に伊勢を宣伝しました。

委託先：三重交通株式会社

委託金額：1,436,400 円

委託期間：平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

（３）旅行会社へのセールス活動

平成 25 年の第 62 回神宮式年遷宮を伊勢への送客のきっかけにさせていただこうと、旅行会社へ営業活動を実施しました。旅行会社に正確な観光情報や地元商品情報などの提供を行い、「伊勢は旅行商品を造成しやすい地域」と認識されるよう、売り込みを行いました。売り込みに際しては、利潤につながる内容にすることで、遷宮後も継続して展開していける関係をつくるため、（株）観光販売システムズに一部業務を委託し各種対応を行いました。

なお、首都圏、関西、中京圏においては、既に伊勢志摩キャンペーン事業、三重県、周辺市町並びに観光事業者が伊勢神宮等を関連させた商品造成の働きかけを行っているため、伊勢市としてはこれら以外の地域へも積極的な営業活動を行いました。平成 24 年度は、4 月に中部圏の J T B 提携店販促会議、6 月と 11 月には中国・四国、九州への営業を実施し、12 月には北海道の主要旅行会社への営業を行いました。すでに旅行商品を展開している旅行会社に対しては、平成 24 年 10 月以降の継続をお願いし、まだ展開していない旅行会社へは、新たな商品提案を行いました。

（４）ホームページを活用した情報発信

インターネットを活用して、（公社）伊勢市観光協会と共同運営するホームページで、観光情報の発信を行っています。

※平成 14 年 3 月開設（平成 21 年 10 月 1 日全面リニューアル）

年度	アクセス数 (携帯電話含む)	稼働日数	一日平均
13	999	7	142.7
14	77,936	365	213.5
15	106,076	365	290.6
16	132,977	365	364.3
17	214,240	359	596.8
18	350,359	365	959.9
19	436,068	366	1,191.4
20	444,759	365	1,218.5
21	494,421	335	1,475.9
22	723,104	365	1,981.1
23	837,292	366	2,287.7
24	1,214,201	365	3,326.6
計	5,032,432	3,988	1,261.9

※システム移行により平成 21 年 9 月のアクセス数は算出不能
このため、平成 21 年度の数値は 11 か月分の合計値となっています。

(5) 観光パンフレットの利活用による情報発信並びに誘客活動

伊勢にお越しいただく方に、より一層お楽しみいただくことで滞在時間の延長をはかり、観光消費額を増やすことを目的とした総合観光パンフレット（ええじゃないかお伊勢さん）、また観光展やPRイベントにおいて伊勢の概要を紹介する観光パンフレット（ええじゃないかお伊勢さん概要版）、町歩き等をお楽しみいただくマップ（伊勢市内マップ、ポケナビ、二見浦、グルメマップ、伊勢うどんマップ等）、外国語版パンフレットなど、目的別に（公社）伊勢市観光協会と共同で、作成・増刷・配布をしました。配布にあたっては、観光展等での配布のほか、観光案内所での配布、各種集大会による来訪者への配布、広告事業と連動した媒体等を通じたパンフレット送付依頼対応、旅行会社等での配布を行いました。

また、24 年度は、新たに観光PRポスターを作成しました。今回は、遷宮、遷宮後の顧客獲得を目指し「現代版お伊勢参り」をテーマにコンペを行い、市内 5 社 7 作品の中から選定しました。作成したポスター（作成部数：B 1 サイズ 300 枚、B 2 サイズ 1,200 枚）は、PR イベントでの展示をはじめ、各地での掲示を行いました。なお、ポスターデザインを採用した名刺台紙も新たに作成し、ポスターとともに観光PRに活用しました。

年度	パンフレット郵送件数
18	522
19	527
20	1,081
21	1,426
22	1,261
23	966
24	1,988
計	7,771

(6) 外宮周辺魅力創出・発信事業（伊勢商工会議所協働事業）

内宮周辺に集中している観光客を、市の中心市街地である外宮周辺へ誘導し、市内周遊に繋げることを目的に、各種事業を行いました。

① 外宮誘客事業

外宮誘客をデザインした路面バス2台の内宮・外宮間運行

路面バス10台への屋根看板設置及び車内への広告展開

高速サービスエリア・パーキングエリア・料金所・近鉄各駅・宿泊施設等への外宮誘導チラシ設置、内宮（宇治浦田駐車場）での外宮誘導チラシ配布、携帯サイトの運用

② 外宮周辺資源活用事業

外宮周辺の魅力を紹介したまち歩きパンフレットの観光案内所・市内主要施設への設置、県内外イベント等での配布

③ 朝市・施行木札事業の広報並びに組織育成支援事業

朝市情報の広告掲載

市民ボランティアとの連携による参宮木札配布とアンケート調査

木札施行店舗の会等の運営補助

(7) 観光需要創出事業（伊勢商工会議所協働事業）

平成24年10月1日から伊勢商工会議所と協働で、伊勢への来訪者に対しスマートフォン専用アプリ「かざすCITY伊勢」の運用を開始しました。

「かざすCITY伊勢」は「AR(拡張現実)」の技術を活用したアプリで、スマートフォンを風景にかざすことで、ディスプレイに映る現実の風景に周辺の情報を重ねて表示することができます。

本事業では「かざすCITY伊勢」の中で、観光スポットや飲食店、ルート案内等詳細な情報等の提供を行い、誘客と回遊性の向上を図りました。

(8) フェイスブックページ運用事業

平成24年7月20日から伊勢市観光企画課フェイスブックページを運用しています。主に伊勢市の観光情報、イベント情報、遷宮情報、観光企画課の業務などを発信しています。

発信者と受け手の双方向のやりとりが可能なSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)での取り組みであり、ターゲットを20代~30代と設定し、若い人にも分かりやすい発信を心がけています。

2 広域連携事業

(1) 広域観光振興事業にかかる各種協議会への参画

三重の観光営業拠点運営協議会・大河ドラマ「平清盛」伊勢志摩地域宣伝協議会・伊勢熊野観光連絡協議会・(公社)三重県観光連盟・(一財)伊勢志摩国立公園協会・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会・伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会・(公社)日本観光振興協会・歴史街道推進協議会・NPO法人全国街道交流会議に参画し、事業展開を図りました。

3 「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業

平成 25 年の第 62 回神宮式年遷宮に向けた誘客の一環として、平成 17 年度から引き続き、伊勢の旅行商品の開発、旅行会社向け資料の作成を行いました。東海、関西、関東を中心に、北海道、中国・四国、九州など全国の旅行会社への企画提案と流通促進を行っています。

実施に当たっては、専門業者に業務を委託することで、特定の旅行会社への偏りを無くし、新規開拓も含め広い対象地域を設けることで、伊勢への観光客増加を目指しました。

特に、「食べ歩きクーポン」「お伊勢さん観光案内人」を活用した商品展開と、CANばす等の公共交通機関を活用した商品導入に力を注ぎました。

4 各種集大会等誘致開催補助金

市内への集大会の誘致を図り、市内への来訪・滞在者数を増加させることにより、観光による経済波及を促すため、集大会を主催する団体等に対し、各種集大会等誘致開催補助金を交付しました。

補助金額は、延べ宿泊者人数に応じて要綱に定めた額を補助しました。（例：100～199 人の場合 60,000 円）

期 日	集 大 会 名	延参加人員 (人)	延宿泊人員 (人)	会 場	補助確定金額 (円)
3.31 ～ 4.1	第 2 回お伊勢さん女子交流ソフトボール大会	306	109	三重県営大仏山公園野球場他	60,000
5. 3 ～ 6	読売杯第 27 回日本少年野球中日本大会	1,100	306	伊勢市営倉田山公園野球場ほか	120,000
5. 4 ～ 5	第 5 回 P u r o C U P	1,000	204	朝熊山麓公園フットボール場 (人工芝)	90,000
7.28 ～31	2012 ユース交流大会 I N 伊勢 (三重)	1,350	392	朝熊山麓公園フットボール場	120,000
8. 2 ～ 4	第 5 回ソシエタフェスティバル U14	750	267	朝熊山麓公園フットボール場 (人工芝)	90,000
8. 6 ～ 9	平成 24 年度 関西薬学生ソフトテニス大会	789	845	伊勢市市営庭球場	270,000
8. 7 ～10	第 11 回神社スカウト全国大会	6,123	1,829	三重県営総合競技場ほか	500,000
8.25 ～26	第 55 回東海陸上競技選手権大会	693	393	三重県営総合競技場陸上競技場	120,000
8.25 ～27	神宮奉納第 21 回記念日本少年野球小学生三重大会	3,250	814	伊勢市倉田山公園野球場ほか	270,000
9.15 ～16	第 8 回 J F A 三重ガールズサッカーフェスティバル I N 伊勢志摩	1,000	215	朝熊山麓公園フットボール場 (人工芝)	90,000
9.22 ～23	第 2 回いすずウキウキクラブ杯及び西日本中学生クラブチーム選手権大会	340	322	五十鈴公園野球広場ほか	120,000

10. 6 ～ 7	第 8 回神宮奉納全国惑ラグビー伊勢大会	561	118	朝熊山麓公園芝生競技場	60,000
10.27 ～28	神宮奉納全国生涯野球チア・アップ伊勢大会	908	259	伊勢市倉田山公園野球場ほか	90,000
10.27 ～28	第 15 回東海高等学校新人陸上競技選手権大会	1,700	830	三重県営総合競技場 陸上競技場	270,000
11.10 ～11	神宮奉納第 11 回記念日本少年野球中学生三重大会	4,180	1,111	伊勢ジャガーズ球場 ほか	360,000
11.17 ～18	第 26 回東海地域高等学校新人ソフトボール大会	930	120	三重県営大仏山公園 球場他	60,000
11.23 ～25	第 50 回伊勢神宮奉納第 60 回全日本学生弓道王座決定戦ほか 3 大会	1,037	956	伊勢神宮弓道場	300,000
12. 1 ～ 2	第 3 回日本少年野球 心のふるさとお伊勢さん大会	2,400	908	伊勢工業グラウンドほか	300,000
12.23 ～25	第 6 回おいないカップユースサッカー大会	900	233	朝熊山麓公園フット ボール場	90,000
1. 4 ～ 5	2013 年 伊勢 初蹴り交流戦	240	120	朝熊山麓公園フット ボール場（人工芝）	60,000
1.12 ～14	第 18 回全日本ユース（U-15）フットサル大会・第 3 回全日本女子ユース（U-15）フットサル大会	1,060	648	三重県営サンアリーナ	210,000
2.16 ～17	第 4 回おひなさまカップ in 二見	460	130	朝熊山麓公園フット ボール場（人工芝）	60,000
3. 9 ～10	第 4 回 FC TREVO 招待 TREVO CUP	700	120	伊勢フットボールヴ イレッジ	60,000
3.26 ～28	第 16 回伊勢市高校サッカーフェスティバル	717	167	伊勢フットボールヴ イレッジ	60,000
3.30 ～31	第 3 回お伊勢さん女子交流ソフトボール大会	448	158	三重県営大仏山公園 球場他	60,000
計	25 件	32,942	11,574	—	3,890,000

5 伊勢志摩広域観光活性化事業

(1) (公社)伊勢志摩観光コンベンション機構への参画

伊勢志摩地域への誘客による活性化のため、(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構(平成6年3月設立、平成14年11月名称変更、平成18年4月社団法人化、平成24年4月公益社団法人化)に参画し、伊勢志摩への集大会・会議・展示会・イベント等のコンベンション誘致、伊勢志摩地域の情報発信に向けた観光事業・フィルムコミッション事業を展開しました。

(2) 伊勢志摩キャンペーン事業

平成 24 年 10 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで、三重県・伊勢志摩地域各団体・近畿日本鉄道（株）などと協働で「伊勢志摩キャンペーン」を実施しました。東京・大阪・名古屋地域等における伊勢志摩の観光 PR の実施、ガイドブック、チラシ、ポスター等の作成及び近鉄沿線や旅行会社等への配布、各種媒体を活用した情報発信や、旅行会社とのタイアップによる誘客を展開しました。

(3) 伊勢志摩学生団体誘致事業

当事業は伊勢志摩地域の行政、民間施設等が共同で学生団体旅行の誘致活動を行う事業で、平成 24 年度は学生団体旅行ガイドブック「伊勢志摩においさないさあ」の改訂増刷、体験学習指導者のスキルアップを目的とした研修会の開催、学校訪問セールス及び誘致セミナー、現地視察招へい、関係機関との情報交換などを実施しました。

7 月に首都圏（横浜市、川崎市、藤沢市）の公立中学校、1 月に関西圏（神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市）の公立小学校を訪問しセールスを実施しました。

また、2 月には神戸市内で体験学習発表会を開催しました。

6 外国人観光客誘致推進事業

東海地区外国人観光客誘致促進協議会、三重県外国人観光客誘致促進協議会、伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会、昇龍道協議会等へ参画し、主に他地域とともに広域でマーケットの成長力と規模から注目される中国・アジアからの誘客とともにヨーロッパ諸国などへの情報発信も視野に入れながら、事業に取り組んでいます。

平成 24 年度は尖閣問題などで困難もありましたが、伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会と協働で、中国人ブローガー招へい・情報発信等の取り組みを行いました。

市単独としては、平成 24 年 5 月 24 日に東京（有楽町）の日本外国特派員協会にて「日本のふるさと『伊勢』」講演会及び交流会を実施し、国外への情報発信を促進しました。

また、広報広聴課と共同で、伊勢の魅力発見事業として、伊勢市河崎在住のカナダ人落語家・桂三輝を起用した伊勢の紹介映像を作成しました。映像は市行政番組で放映後、英語字幕をつけ、ユーチューブにてインターネット配信しています。

映像本数 19 本

ユーチューブ閲覧回数（平成 25 年 4 月 22 日現在）2,526 回（うち外国 200 回）

7 御遷宮誘客宣伝事業

(1) 誘客宣伝 PR キャラバン

第 62 回神宮式年遷宮を目前に控え、各地への宣伝（PR キャラバン）事業を実施しました。その際、単に情報を発信するだけでなく、アンケート調査による市場調査も行い、地域の傾向、認知度等を分析し、次年度および遷宮後の誘客事業の検討材料として活用しました。

< P R キャラバン実施状況 >

	実施日	開催場所	備考
1	4. 19	近鉄大阪難波駅（大阪市）	
2	5. 3	津ヨットハーバーまつり（津市）	
3	5. 11-12	桜通りカフェ（名古屋市）	
4	6. 2- 3	信州夢街道フェスタ 2012（松本市）	長野放送中継出演
5	6. 14-15	J R 横浜駅（横浜市）	旅行会社窓口営業実施
6	7. 26-27	J R 浜松駅（浜松市）	旅行会社窓口営業実施
7	8. 3	J R 岐阜駅（岐阜市）	
8	8. 19	イオンモール岡崎（岡崎市）	
9	8. 25	J R 金山駅（名古屋市）	
10	9. 10-11	J R 姫路駅（姫路市）	メディア営業実施
11	9. 15-17	全国ふるさと観光物産展（豊中市）	伊勢市産業振興会（商工労働課）共同実施
12	9. 19-21	伊勢の観光物産展（千代田区）	伊勢市産業振興会（商工労働課）共同実施
13	10. 6	はんだ山車まつり（半田市）	
14	10. 6- 7	しずおか元気応援フェア 2012（静岡市）	
15	10. 20-21	信濃の国楽市楽座（松本市）	
16	10. 20	豊橋まつり（豊橋市）	
17	11. 9-11	旅フェア日本 2012（池袋）	
18	12. 14-16	全国ふるさと観光物産展（豊中市）	伊勢市産業振興会（商工労働課）共同実施
19	12. 20	近鉄西大寺駅（奈良市）	
20	2. 4-11	さっぽろ雪まつり（札幌市）	
21	3. 4- 6	伊勢の観光物産展（東京）	伊勢市産業振興会（商工労働課）共同実施
22	3. 16-17	旅まつり名古屋 2013（名古屋市）	

(2) 伊勢旅商品全国展開事業

全国各地（北海道、東北、首都圏、長野、東海、関西、中国・四国、九州の8地域）で伊勢の単独旅行商品展開を目指した結果、大手旅行会社4社により伊勢の単独旅行商品が販売されることになり、伊勢への旅行機会創出に繋がりました。

単独旅行商品には「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業で企画造成されたオプションプラン等を活用し、観光客の伊勢市内での周遊促進と市内宿泊施設利用促進を図りました。

また、遷宮情報を入れた観光案内データ作成や、共通ロゴの作成、「伊勢お餅三昧」クーポンの作成を行い、パンフレットに掲載しました。

○ 緊急雇用創出事業

1 伊勢市観光PR推進事業

本事業では平成25年の神宮式年遷宮に向け、伊勢の魅力を広く全国に発信し、観光客誘致を促進しました。雇用者は、札幌、東京、横浜、長野、三河、名古屋、大阪、神戸、姫路等でのイベント開催における事業調整、実施に向けての事務運営や、情報発信及び広報活動等に携わりました。

観 光 事 業 課

○ もてなし心醸成事業関係

1 年末年始旅客の受入

外宮参道、伊勢市駅前広場付近において地元団体と共同で、ふるまいや外宮参道ライトアップ等で初詣客をもてなした。

(公社)伊勢市観光協会は、初参りの参拝客の観光案内を含めた接遇を行い、大晦日に内宮、外宮で年越餅を各3,000個配布するとともに、文化の発信に努めた。

また、市は、平成25年1月1日から3日に伊勢市駅前にて湯茶のふるまいと観光案内を行い、初詣客を出迎えた。

2 スポーツ関連行事もてなし事業

(1) 秩父宮賜杯第44回全日本大学駅伝対校選手権大会【平成24年11月4日(日)】

熱田神宮西門前から伊勢神宮内宮宇治橋前の8区間106.8kmを結ぶ大会が開催された。市内の太鼓団体が沿道で選手を歓迎応援し、ゴール地点の内宮前にて景気花火を放揚するなど選手及び観客をもてなした。

(2) 2012中日三重お伊勢さんマラソン【平成24年12月1日(土)～2日(日)】

お伊勢さん健康マラソン大会のおもてなし部門として、1日(土)に二見プラザにてウェルカムパーティーを開催した。

また、大会中は会場内の物産展等で使用できる「お伊勢さんチケット」を作成したほか、市内入浴施設の協力のもと大会参加者への入浴案内を実施した。

市内の太鼓団体が沿道で全国から参加した選手の歓迎と応援を行った。

(3) 第6回美し国三重市町対抗駅伝【平成25年2月17日(日)】

津市県庁前から市内にある県営総合競技場までの10区間42.195kmを結ぶ大会が開催された。市内沿道に歓迎・応援用のぼりを設置したほか、市内の太鼓団体と伊勢市婦人会連絡協議会が選手の歓迎と応援を行った。

3 おもてなし推進事業

(1) 車椅子貸出事業

市を訪れる高齢の方や身体の不自由な方が安心して観光できるよう、伊勢市駅周辺において車椅子貸出事業を行うための調査・準備を行った。

(2) 案内サイン整備事業

観光客が散策、回遊など行動しやすい環境を整えるため、下記のとおり観光案内サインの整備を行った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
岡本1丁目 地内ほか	(注) 観光案内サイン設置 工事	観光案内サイン設置工 22か所	円 19,923,750	24.11.22	25.3.22
二見町茶屋 地内ほか	(注)(注1) 観光案内サイン設置 (その2)工事	案内標識補修板設置工 2か所 案内標識設置工 3基 案内標識板設置工 3か所	5,097,750	25.2.1	25.4.24
計	2件	—	25,021,500	—	—

(注) 基盤整備課施行

(注1) 平成25年度へ繰越

(3) 奉祝団体歓迎事業

全国から訪れる第62回神宮式年遷宮を奉祝する行事を受け入れ、市民及び観光客の安全を確保するとともに、これらの行事を多くの方々に楽しんでもらうことを目的とし、平成24年12月に「御遷宮奉祝行事受入実行委員会」を設立し、受入のためのガイドラインの作成及び1団体の受入を決定した。また、実行委員の知識向上のため勉強会を実施した。

(4) 観光人材育成事業

観光業者・タクシー業者等おもてなし従事者及び市内学生を対象に、下記のとおり研修会を開催した。

日時	内容	場所	参加者	講師
25.1.10	外から見る「お伊勢さん」 と求められるおもてなし	宇治山田商業 高等学校	73人	桂 三輝 氏
	内から見る「お伊勢さん」 とおもてなしの心			外宮参道発展会 会長 山本 武士 氏
25.2.20	英語圏の観光客接遇	伊勢河崎商人館	26人	JTB外国人おもてなし 研修講師
		賓日館	39人	英語・通訳案内士 富山 佳子 氏

(5) キャラクターおもてなし事業

幅広い年齢の観光客に対して心に残るおもてなしを行うため、伊勢市の緑化推進キャラクターとして活動していた「花照ちゃん」を「伊勢市の観光PRキャラクターはなてらすちゃん」と命名し、観光PR及びおもてなし活動を行った。伊勢市内のみならず全国各地で年間38件55日活動した。また、観光PRや活動を盛り上げるため、テーマソングを公募し、17曲の中から3曲を採用した。

曲名	歌	作詞	作曲	応募者
はなてらす	いろはにみずほ	清水秀隆	清水秀隆	清水秀隆
～花を咲かせて～ はなてらすちゃん	PON	ちゃあら (加藤千佳子)	Satoh's (中北智)	PON
はなてらす音頭	細江美月	細江祐司	細江祐司	細江祐司

(6) 音声ガイド事業

日本人及び外国人観光客に対して、スポットの特徴や歴史などの観光情報を音声により自由に取得できるよう、日本語・英語・韓国語・中国語に対応した、音声ペンを利用し環境を整備した。

(7) 二見浦駅にぎわいプロジェクト

二見浦を訪れる観光客に対するおもてなしを行うため、二見浦駅周辺のにぎわいに対する取り組みや、周辺における案内などの活動を行っている、「まちらぼ二見浦」を支援した。

4 案内ガイド連携事業

「案内人の質の向上」「情報共有」「一体感の醸成」を目的に、市内で活動している観光ガイド団体・案内所の9団体による「伊勢たびナビの会」において、観光事業者向けの冊子の作成を進めた。また、増加している観光客からの観光案内の問い合わせに対応するため、観光ガイド紹介パンフレットを増刷し、全国に発信を行った。

○ 観光一般事業関係

1 観光案内所の運営

伊勢市駅、宇治山田駅観光案内所における運營業務を（公社）伊勢市観光協会に、二見浦観光案内所における運營業務を二見町旅館組合等に委託した。また、三重県内では伊勢市駅及び宇治山田駅観光案内所が、外宮前観光案内所とともに、唯一の外国人観光案内所カテゴリー2（注）に指定され、外国人旅行者に対しても積極的な観光案内を行なっている。

（注）外国人観光案内所カテゴリー2：少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐し、広域の案内を提供できる。

委託金額 11,483,850円（契約期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(1) 伊勢市駅観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	6,299	7,366	4,854	6,577	7,789	6,365	7,015	6,119	5,119	8,889	6,605	7,949	80,946
外国人件数	300	159	122	287	175	129	213	173	176	152	137	221	2,244

(2) 宇治山田駅観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	2,719	2,951	1,970	2,305	3,174	2,850	3,365	3,284	2,407	3,939	2,988	4,627	36,579
外国人件数	74	33	28	43	52	44	53	48	38	29	36	50	528

(3) 二見観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	916	1,277	603	878	1,482	972	1,102	897	770	1,151	1,036	1,112	12,196
外国人件数	34	14	16	29	26	31	15	24	13	12	8	13	235

2 (公社)伊勢市観光協会への活動支援

平成4年に社団法人化された伊勢市観光協会は、昭和25年に宇治山田市観光協会として設立されて以来、行政と営利を目的とする観光関係事業者を中心とした民間企業との中間的な存在で、旅客誘致に係るイベント実施や観光宣伝など、様々な分野で弾力的・柔軟的に活動した。

財政基盤の強化と事業展開の推進のため財政的な支援として助成した。

○ 二見浦海水浴場の管理運営

二見浦海水浴場は、明治15年に開設された「日本第一号の海水浴場」として知られており、夏のシーズンには、海水浴場施設の開設を行っている。管理運営については、(公社)伊勢市観光協会に委託した。主な業務委託内容は、①案内、②駐車場管理運営、③海水浴場管理運営、④巡視看護、⑤環境美化などである。

- ・ 委託期間 平成24年5月18日～平成24年10月31日
- ・ 委託料 1,866,135円
- ・ 開設期間 平成24年6月30日～平成24年8月31日
- ・ 海水浴客数 17,030人(前年度 15,200人)
- ・ 駐車場収入 1,327,300円
- ・ 施設使用収入 584,294円

1 工事関係

経年劣化による二見浦サマービーチハウスの扉の破損と二見浦レストハウスの落雷による水位計の破損の取替、及び松の根が原因で電線管路が押しつぶされ抜けなくなったための修繕等を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町 荘内 地	二見浦海水浴場ビーチハウス扉修繕	木製建具撤去・処分、木製枠組み、木製建具新設、塗装、アンカー工事、シーリング工事	円 346,500	24. 5. 30	24. 6. 20
〃	ビーチハウス電気設備修繕	漏電ブレーカー撤去、取付作業、電気設備工事一式	18,900	24. 7. 2	24. 7. 23
〃	二見浦海水浴場防護フェンスロープ修繕	防護フェンスのロープ劣化に伴う吊縄、ポリロープの交換	10,106	24. 9. 21	24. 10. 6
〃	二見浦レストハウス水位計取替及び制御盤改造修繕	水位計取替、制御盤改造・調整 投込圧力式水位(差動トランス方式)	407,400	25. 2. 1	25. 3. 1
〃	二見浦レストハウス水位計電線管路修繕	電線管 L=20m、掘削・埋戻し、電線管接続処理一式	108,150	25. 2. 20	25. 3. 1
計	5件	—	891,056	—	—

2 効果及び課題

海水浴場施設の運営に係る業務等による雇用の創出、また、この地域の宿泊業、飲食業及びコンビニ、交通機関などへの経済波及効果をもたらした。

海水浴場開設前には、海岸清掃を旅館組合等の観光関係団体、小中学校、保育園、地域住民が協力して行い、海岸等の保護、管理に努めている。企業のボランティア協力による機械でのビーチクリーンや清掃活動の協力も地域に定着してきた。

開設期間の天候は、梅雨明けは平年並みであった。しかしながら気温が30度を超える日が少なく、平均気温も昨年度を下回り客数は伸びなかった。また、海水浴場の放射能に対する問い合わせもいくつかあり、平成23年3月11日発生の東日本大震災による原発事故が未だに影響していると考えられる。

施設については、海風の影響や長年の使用により劣化している箇所が多々見られ、今後の海水浴客の減少につながる原因になることも考えられる。安全性確保、景観向上に加え、快適性、利便性も考慮した、集客につながる積極的かつ計画的な改修の検討とともに、施設を抱える地域の一体的な導線整備が必要であると考えられる。

同時にソフト面では、利用者ニーズの把握や的確な情報発信を更に行っていく必要がある。

○ 伊勢市宇治浦田観光案内所整備事業

式年遷宮により訪れる多くの観光客に備えて、宇治地区に観光案内所を設置するため宇治浦田お休み処を改修した。

1 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
宇治浦田 1丁目 地内	(注) 宇治浦田観光案内所(仮称)改修工事	宇治浦田観光案内所(仮称)改修 建築工事 一式 電気設備工事 一式 機械設備工事 一式	円 7,077,000	25. 3. 25	25. 4. 26

(注) 建築住宅課施行、平成25年度へ繰越

○ 伊勢市駅手荷物預かり所整備事業

式年遷宮により訪れる多くの観光客のニーズに対応するため、手荷物預かり所を整備した。

1 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
吹上 1丁目 地内	(注) 伊勢市駅前手荷物預かり所新築工事	木造 2階建 新築 建築面積 99㎡ 延面積 139㎡ 所要室:1階:受付スペース、倉庫、多目的便所 2階:休憩スペース、事務室、授乳室、便所×2か所 電気、換気、給排水衛生 一式	円 27,006,000	25. 4. 5	25. 7. 18

(注) 建築住宅課施行、平成25年度へ繰越

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 おもてなしスキルアップ事業

外国人観光客に特化したおもてなしを考える「Welcomeいせの会」において、日本在住の外国人の方と交流するため「二見ツアー」を開催したほか、近年外国人観光客が増加している岐阜県高山市に実行委員で視察に行き、今後の活動について勉強した。

2 第5回美し国三重「寄せ植え」コンテスト【平成24年6月1日（金）～3日（日）】

外宮前広場で三重県種苗園芸協会の主催により、第5回美し国三重「寄せ植え」コンテストが開催された。コンテナガーデン部門、ハンギングバスケット部門、フレーム部門、マスター&プロ部門で競われ、三重県内から280点の作品が展示され、14,000人が来場した。

3 なでしこロードレース【平成24年12月16日（日）】

伊勢南北幹線道路の開通を記念し、女性による自転車のロードレース「なでしこロードレースイン伊勢」を開催した。クロスバイクやロードバイク経験者を対象とした部門に全国から44名が、また一般を対象としたチーム対抗ママチャリ部門に11チームが参加した。

4 フットボールヴィレッジ推進事業

伊勢フットボールヴィレッジを広く周知するため、施設をPRするためのリーフレットを作成し、誘客を行った。

5 （公社）伊勢市観光協会との共同事業

（公社）伊勢市観光協会と協力し以下の事業を行った。

- ・第8回日本観光交流・伊勢会議及び第45回観光祈願祭
- ・観月茶会及び御幣鯛行事
- ・平成“食”のおかげ参り事業
- ・サイクルフォト事業「～伊勢MYりんで乗って撮って～」

○ 観光行事振興事業関係

1 第60回記念伊勢神宮奉納全国花火大会【平成24年7月14日（土）】

北は秋田県から南は鹿児島県の全国各地から選抜された52業者の花火師が参加する競技花火大会で、打上花火の部52組、スターマインの部11基の2部門で競われ、競技大会ならではの格調、質ともに全国トップレベルの花火玉約10,000発が打ち上げられ、約25万人が観覧した。

オープニングには、昨年に引き続き東日本大震災の復興を祈念したスターマインを打ち上げたほか、60回大会を記念して大会中盤にオリジナル曲に合わせて記念スターマインを打ち上げた。今回もNPO団体の協力により、84名のボランティアが、ごみの持ち帰り及び分別ナビゲート活動を行い環境に配慮した大会運営に努めた。

2 春まつり【平成24年4月1日（日）～10日（火）】

日本のさくら名所百選の宮川堤において、（公社）伊勢市観光協会が主になって運営し、宮川保勝会の協力により、訪れた花見客の安全対策等を行った。

○ 民俗伝統行事推進事業

平成 25 年に行われる「お白石持行事」に向けて、地元奉獻団のタイムスケジュールを決定したほか、地元奉獻団の代表者とともに現場においてシミュレーションを行った。また、真夏に行うため、熱中症対策の講習会も実施した。

式年遷宮の広報誘客を行うために、2月4日（月）～11日（月）の8日間、さっぽろ雪まつりにおいて、「伊勢神話への旅」大雪像の制作、伊勢ブースでのPRを行い、約8万人に会場いただいた。その他、全国へのPRのためリーフレットを5万部、また機運を高めるために市民向けのリーフレットを2種類6万部発行した。

○ 伝統的観光行事振興事業

伊勢のまつりブランド化推進事業【平成 24 年 10 月 14 日（日）～15 日（月）】

日本全国の有名な祭り 22 団体、約 800 名による響演「祭のまつり」が 15 日（月）に外宮周辺で開催され、前日の 14 日（日）には伊勢・安土桃山文化村において前夜祭が行われた。

また、16 日（火）には、伊勢神宮奉仕会主催の初穂曳が実施された。

観客数延べ 117,500 人 参加人数 4,730 人

○ 朝熊山麓公園サッカー場整備事業

1 サッカー場整備事業

フットボールヴィレッジ構想を推進するためのグラウンド整備を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町地内	(注) フットボール場整備に伴う岡本太郎作品補修業務委託	撤去・補修・設置 2 体	円 11,872,350	23. 7.25	24. 10.31

(注) 基盤整備課施行、平成 23 年度・24 年度継続費

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
朝熊町地内	(注) 伊勢フットボールヴィレッジ電話等配線工事	交換器 1 台 電話 10 台 電話、LAN 配線 一式	円 1,155,000	24. 12. 12	25. 2. 27
〃	(注 1) フットボール場整備に伴うサイン設置工事	サイン設置工 2 か所	1,732,500	24. 12. 21	25. 2. 28
〃	(注 1) フットボール場整備に伴う目隠しネット設置工事	目隠しネット設置工 94.7m	961,800	25. 2. 4	25. 2. 28
計	3 件	—	3,849,300	—	—

(注) 建築住宅課施行

(注 1) 基盤整備課施行

2 伊勢フットボールヴィレッジ等寄贈【平成 25 年 2 月 28 日（火）】

伊勢フットボールヴィレッジ人工芝サッカーピッチ 2 面（Aピッチ、Bピッチ）及びクラブハウス及び更衣室等を（株）赤福様から、太陽光発電システムを京セラ（株）様から寄贈いただき、寄贈式を行った。

3 伊勢フットボールヴィレッジ完成プロモーション事業

伊勢フットボールヴィレッジの施設利用促進及び地域に根ざした施設とすることを目的に全国への普及活動を企画し、実施した。

(1) 伊勢フットボールヴィレッジオープニングイベント【平成 25 年 3 月 3 日（日）】

オープニングセレモニー、伊賀FCくノ一の選手による市内の少年 110 人を対象としたサッカー教室、伊賀FCくノ一とジェフユナイテッド市原千葉レディースによるオープニングマッチを開催し、1,500 人が観戦した。

(2) 完成記念大会等

施設の完成を記念して、各カテゴリーで完成記念大会や交流戦などを開催した。

カテゴリー	日程	チーム数(市外参加数)
女子サッカー	平成 25 年 3 月 10 日(日)	6 チーム(5 チーム)
少年サッカー	平成 25 年 3 月 16 日(土)～17 日(日)	20 チーム(7 チーム)
U15 サッカー	平成 25 年 3 月 23 日(土)～25 日(月)	15 チーム(4 チーム)
高校サッカー	平成 25 年 3 月 26 日(火)～28 日(木)	17 チーム(10 チーム)
ユースサッカー	平成 25 年 3 月 29 日(金)～31 日(日)	9 チーム(8 チーム)
シニアサッカー	平成 25 年 3 月 30 日(土)	4 チーム(3 チーム)
社会人サッカー	平成 25 年 3 月 31 日(日)	7 チーム(2 チーム)

(3) 市民開放デー【平成 25 年 3 月 20 日（祝）】

当該施設を市民に触れ合う機会として、伊勢レクリエーション協会、伊勢市グラウンドゴルフ協会、皇學館大学及び皇學館大学レクリエーション部の協力によりグラウンドゴルフ大会やニュースポーツ体験などを実施した。

4 伊勢フットボールヴィレッジ広告板設置

伊勢フットボールヴィレッジの維持に係る費用負担を減少するため、当該施設内に広告板を設置し、17 社の広告掲載を行った。

○ 緊急雇用創出事業

1 観光地車椅子貸出事業

伊勢市を訪れた高齢な方や身体が不自由な方にも安心して観光できるよう車椅子の貸出を行い、滞在時間の延長と散策範囲の拡大を目的に、伊勢おはらい町会議に委託し内宮周辺の車椅子貸出事業を実施した。

委託期間 平成 24 年 5 月 7 日から平成 25 年 3 月 31 日

金額 5,965,276 円

2 観光客受入体制整備事業

平成 25 年 2 月 1 日から 3 月 31 日までの 2 か月間、臨時職員を 1 名雇用し、御遷宮に伴う観光事業の参加や、観光客に対する情報発信及び受入体制の調整等を行った。

事業費 311,513 円

○ 協力・協働による観光関連事業関係

1 観光行事等への後援

市内開催の各種観光行事等へ後援し、周知宣伝等の協力を行った。

開 催 日	名 称
24. 4. 1 (日)	第 57 回神宮奉納大相撲
4. 1 (日) ~ 25. 3. 31 (日)	みそか寄席
4. 7 (土) ~ 4. 8 (日)	せんぐう館開館奉祝伊勢楽市
4. 21 (土) ~ 4. 25 (水)	La Festa Primavera 2012
4. 21 (土)	大仏山公園 SPRING FESTA
5. 3 (祝) ~ 5. 5 (祝)	読売新聞杯第 27 回日本少年野球中日本大会
5. 4 (祝)	賓日館にて伊勢音頭
5. 5 (祝)	倭姫宮春の大祭奉祝行事
5. 5 (祝)	猿田彦神社御田祭
5. 11 (金)	第 8 回日本観光交流・伊勢会議 (第 45 回日本観光祈願祭)
5. 12 (土) ~ 5. 13 (日)	第 26 回伊勢楽市
5. 13 (日) ~ 5. 27 (日)	第 22 回朝熊山つつじ祭
5. 19 (土)	第 2 回東日本大震災チャリティイベント
5. 19 (土) ~ 5. 20 (日)	第 27 回どんどこ祭り
6. 16 (土)	第 1 回伊勢祝祭都市会議シンポジウム
6. 17 (日)	COUNTRY HEAVEN 伊勢 2012
6. 17 (日)	伊勢志摩舞祭り
7. 1 (日)、9. 2 (日)	チャリティーイベント「Ghetto Red Hot」
7. 14 (土)	第 28 回二見大祭しめなわ曳
7. 28 (土)	神宮奉納伊勢薪能
7. 28 (土) ~ 7. 31 (火)	2012 ユース交流大会 IN 伊勢 (三重)
8. 1 (水)	第 15 回八朔参宮せんぐう館開館記念 「伊勢神宮外宮さんゆかたで千人お参り」
9. 8 (土) ~ 9. 9 (日)	第 10 回神恩感謝日本太鼓祭
9. 16 (日)	第 28 回伊勢音頭フェスティバル
9. 22 (祝)	伊勢 LOVE ROCK FESTIVAL
9. 26 (水)	第六十二回神宮式年遷宮奉祝鎮守の里コンサート
9. 30 (日)	観月茶会
10. 3 (水)	第 55 回全国すし連三重大会
10. 6 (土) ~ 10. 7 (日)	第 8 回神宮奉納全国感ラグビー伊勢大会
10. 6 (土) ~ 10. 7 (日)	第 15 回みちのく YOSAKOI まつり
10. 14 (日) ~ 10. 15 (月)	第 12 回神嘗奉祝祭「祭のまつり」
10. 20 (土)	大仏山公園オータムフェスティバル
10. 28 (日)	お伊勢さん男女混合綱引大会

11. 1 (木) ~11. 15 (木)	猿田彦神社七五三祭
11. 1 (木) ~25. 4. 30 (火)	伊勢志摩国立公園 森と海は恋人キャンペーン
11. 2 (金) ~11. 4 (日)	全米女子プロゴルフ協会公式戦 ミズノクラシック
11. 3 (祝)	賓日館にて伊勢音頭
11. 3 (祝) ~11. 4 (日)	第13回全国伝統花火サミット i n 伊勢
11. 3 (祝) ~11. 4 (日)	秩父宮賜杯第44回全日本大学駅伝対校選手権大会
11. 3 (祝) ~11. 4 (日)	第27回伊勢楽市
11. 4 (日) ~11. 5 (月)	倭姫宮ご鎮座90周年記念奉祝行事
11. 11 (日)	車いす d e 伊勢神宮参拝プロジェクト
11. 18 (日)	第4回夫婦の町の中心で愛を叫ぶ“めおチュー”
11. 21 (水) ~11. 22 (木)	真珠婚おかげ参り 真珠婚おかげ参り W e l c o m e P a r t y
11. 23 (祝)	M U S I C H E A V E N 伊勢2012
11. 23 (祝)	第3回東日本大震災チャリティーイベント i n 伊勢安土桃山文化村
11. 25 (日)	読売日本交響楽団メンバーによる伊勢神宮奉納演奏
12. 9 (日)	第24回伊勢民踊まつり
12. 9 (日)	検定「お伊勢さん」
12. 23 (日) ~12. 25 (火)	第6回おいないカップユースサッカー大会
12. 28 (金) ~25. 1. 1 (祝)	第40回伊勢迄歩講
25. 2. 16 (土) ~ 2. 17 (日)	第4回おひなさまカップ i n 二見
3. 1 (金) ~ 3. 31 (日)	「そこに、西行がいた！！」展
3. 20 (祝)	「わいわい広場2013」 i n サンアリーナ
3. 26 (火) ~ 3. 28 (木)	第16回伊勢市高校サッカーフェスティバル
3. 30 (土) ~ 4. 14 (日)	五十鈴川桜まつり
3. 31 (日)	第五十八回神宮奉納大相撲